

鑛業

鑛業

大阪府の鑛業は實に微々たるものであつて、殆んど今日では採掘中のものなく休業中のもののみであるが、只、有用土石類を以て鑛産價額をなしてゐる。然して今主なる類別を表にすれば左の如きものである。

土石類價額

郡	花崗石	安山岩	其他ノ岩石	硅石	陶磁器原料	磨砂	金剛砂	重土類	其他ノ有用土石
三島郡	4,400	—	—	—	—	—	—	—	960
豊能郡	5,060	—	600	—	—	2,000	—	26,260	335
泉北郡	—	—	—	—	—	—	—	—	80,900
泉南郡	—	—	68,950	—	—	—	—	—	910
南河内郡	48	—	—	1,386	—	—	—	—	1,500
中河内郡	1,000	1,631	156,603	—	—	—	—	—	50
北河内郡	19,406	—	3,000	16,000	—	—	—	—	—
計	30,848	1,631	39,152	17,386	133	4,940	57,900	26,260	84,545

鑛業

總價額五十一萬二千三百八十二圓、府の産業としては最底位にある。然し鑛産物絶無ではなく、明治四十年以來の採鑛高は價額にして左の如き統計を見る。

年	銀	銅	鉛	炭	石	銅	炭	備考
明治四十年	—	—	—	—	—	—	—	大正三年 銀 39,200圓
同 四十一年	—	—	—	—	—	—	—	同 四年 銀 5,600圓
同 四十二年	—	—	—	—	—	—	—	同 五年 銀 9,560圓
同 四十三年	—	—	—	—	—	—	—	同 六年 銀 3,150圓
同 四十四年	—	—	—	—	—	—	—	同 七年 銀、銅、鉛、滿條 6,930圓
大正元年	—	—	—	—	—	—	—	同 八年 銀、銅、鉛、亞炭 21,608圓
同 二年	—	—	—	—	—	—	—	以來休業中
								價格不明ノモノハ鑛石斤量ヲ以テ表ス

鑛業

探掘鑛區表

(全部休業中、大正十年末調査)

鑛山名	所在地	鑛種	坪數	許可年月日
抗野原、豐能郡田尻村		銀、銅	六、六七	明治月日
谷寺、同東郷村		同	五、八一	二六、二、二四
木代、(豐能郡東能勢村)		同	八、三三	二七、六、二〇
金尾、豐能郡吉川村		銀、銅、鉛	二、四、五九	二八、九、二〇
天狗、同郡同村		銅	七、三三三	二六、六、二八
高槻、三島郡清水村		銅	一、五、四三	二八、五、八
多田、豐能郡吉川村		銀、銅	二、四、五〇	二六、六、二八
立鑛、同郡(田尻村)		同	二、九、八五	二六、一〇、三
能勢(豐能郡田尻村東郷村)		同	二〇、六、二八	四、二、二八
白河、泉北郡横山村		亞炭	二、四、五六	二八、四、二五
同		同	三、九、一六九	三三、一、三

鑛山名	所在地	鑛種	坪數	許可年月日
川浦、(三島郡清溪村)		銀、銅	一、五、三〇	明治月日
落合、(豐能郡止々呂美村)		同	一〇、八五一	二六、二、二四
妙見、(豐能郡吉川村)		銀、銅	一、六〇、七九	二六、六、二
探掘權登錄		同	一、六〇、七九	二六、六、二
第二〇號	三島郡清溪村	亞炭	六、九、九〇	大正
				一〇、七、四

鑛業

試掘鑛區表

(全部休業中大正十年末調査)

鑛區	鑛種	坪數	許可年月日
南河内郡 大伴村	亞炭	九、七、六〇〇	大正
南河内郡 中白木村	亞炭	九、一、三	
豐能郡 田尻村	金、銀、銅	一、一〇、五〇〇	九、二、二
豐能郡 西郷村	銅		
三島郡 山田村	石炭	一、〇〇〇、〇〇〇	九、六、一〇
三島郡 岸部村	石炭		
同 新田村	同	一、〇〇〇、〇〇〇	九、六、一〇
同 山田村	同		
同 千里村	同		
南河内郡 天野村	亞炭	四、五、八六〇	九、六、二五
泉北郡 上神谷村	亞炭		

鑛區	鑛種	坪數	許可年月日
三島郡 山田村	石炭	九、八、五〇〇	九、七、一
同 山田村	同	九、九、六〇〇	九、七、一
豐能郡 池田町細河村	金、銀、銅	二〇、五、六七	九、七、二九
兵庫縣 川邊郡川四村	銅		
豐能郡 秦野村	銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	四、六、三四三	九、九、二四
同	同	一、五、七〇〇	九、九、二七
三島郡 清溪村	銀、銅	三、四、一三〇	九、九、三〇
三島郡 春日村	石炭	九、八、四、〇〇〇	九、一〇、二
同 山田村	同		

同	豐川村	銀、銅、鉛、亞鉛、砒、碲	三〇一、〇〇〇	九、一〇、二一
豐能郡	田尻村	銀、銅、鉛、亞鉛	六六、五七二	九、一〇、二一
同	西郷村	銀、銅、鉛、亞鉛	一七五、四〇〇	九、一〇、二一
同	其面村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	一七五、四〇〇	九、一〇、二一
同	秦野村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	一七五、四〇〇	九、一〇、二一
三島郡	清溪村	石炭	九六、九〇〇	九、一〇、二一
豐能郡	細河村	銀、銅、鉛、亞鉛、砒、碲	六八七、〇〇〇	一〇、九、一一
東成郡	神路村	石油	七四八、〇三七	一〇、九、一一
東成郡	中本町	石油	七四八、〇三七	一〇、九、一一
東成郡	城東村	石油	七四八、〇三七	一〇、九、一一
豐能郡	西郷村	銅	三三三、六〇〇	一〇、九、一一

南河内郡	白木村	石炭	六三、三〇〇	一〇、八、一〇
同	天野村	同	七四、〇〇〇	一〇、八、一〇
豐能郡	吉川村	銀、銅、鉛、亞鉛	一〇四、三三三	一〇、九、一一
同	西郷村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	一七五、四〇〇	一〇、九、一一
同	枳根莊村	銅、重石	三五、八五〇	一〇、九、一一
南河内郡	天野村	亞炭	二一〇、〇〇〇	一〇、九、一一
南河内郡	高向村	亞炭	二一〇、〇〇〇	一〇、九、一一
南河内郡	長野村	亞炭	二一〇、〇〇〇	一〇、九、一一
南河内郡	赤阪村	石炭	六四、八〇〇	一〇、九、一一
南河内郡	東條村	石炭	六四、八〇〇	一〇、九、一一
南河内郡	千早村	石炭	六四、八〇〇	一〇、九、一一
南河内郡	中早村	石炭	六四、八〇〇	一〇、九、一一

水產統計

水產物總價額

四、一九五、八六四圓

一漁業戶數

本業 一、七三五
副業 一、〇六九
計 二、八〇四

內(泉南郡) 一、九〇〇

內(泉南郡) 六四二

內(泉南郡) 三、六五五

內(泉南郡) 一、七二一

一漁業者

男 五、六一九
女 九三五
計 六、五五四

內(泉南郡) 三、七二四

水產統計

一漁船

〔動力ヲ有スルモノ〕 四〇艘
〔動力ヲ有セザルモノ〕 三、一五艘

一水產養殖

場數 一、八三五
面積 四、八五三、三三坪
價額 三六、六六圓

一遠洋漁業總價額

一、五七三、六五八圓

主なる遠洋漁業

一漁獵場所

內地沿海、朝鮮沿海、臺灣、關東州、

一漁船

乘組員 二、二四噸
二八〇人

一漁獲物

頭數 一、〇九三
價額 一、五三二、三三八圓

水産統計

漁獲物總覽

(大正十年)

種類	價額	種類	價額	種類	價額
【魚類】	一,三四六,二六四	鰻	五二,七八二	鰻	一七五,一八六
真鰻	五六,六三三	鰻	三四,五九九	其他	四三八,九七三
脊黑鰻	一五六,〇一八	鮎 (カマス)	六,四〇二	【介類】	二九九,四二〇
鰻	七,六一〇	鮎	一四,七五	牡蠣	二,一九六
鮎 (セビ)	一,二七〇〇	文鱈魚 (トビノウオ)	四五〇	蛤	一四,一一一
鮎	四,〇〇〇	秋刀魚 (サンマ)	二七,七七七	鳥貝	二五,八〇〇
鯖	六,九三〇	鯛	一四,一八九	其他	七〇二
鯛	一〇九,八三二	鯛	九,一〇〇	【藻類】	二〇,八二一
黑鯛	一三,〇七五	鰺	一六,四一	其他	五四三,〇二四
鮭	九,四〇六	鰺	七九,五〇六	【水産動物】	五〇,二二五
鰺		鳥賊		總計	二,一八九,〇五四

水産統計

水産物價額累年比較

(單位圓)

年次	魚類	介類	其他水産動物	藻類	遠洋漁業	水産製造物	合計
大正元年	五二九,八八八	七三,五二一	一六八,二一〇	五,二〇〇	七五,二二三	五三三,九五六	二,〇四四,七八八
同二年	九六九,三三三	六一,七五三	一八七,五九二	六,二〇五	一,九九六,九三二	三,二一〇,三三	三,四四二,八七七
同三年	五〇五,五五六	五四,三五二	二五八,一五五	五,五〇〇	一,三八八,〇〇七	二,四四,七二七	二,四四二,八七七
同四年	三二六,二二八	四二,三三三	一六九,〇二七	一,二〇〇	一,五五八,六五四	一三三,七〇〇	二,三九九,九六一
同五年	七四二,七四六	三〇,七七七	一八八,〇六九	一,六三〇	一,二八一,七六六	二二九,八三三	二,四六四,七九〇
同六年	五九九,〇二二	六九,九七八	二六六,四三〇	四四〇	二,〇三三,五四五	三九九,〇七六	三,三五五,四八一
同七年	九五二,三〇四	七六,八三一	三三九,七五九	二,二九九	二,五六五,五六六	四九一,二六二	四,四二七,八八一
同八年	一,四四七,六二八	七七,三二五	四〇九,三二一	二,六四九	四,〇二八,九〇六	四八一,二六〇	六,四四七,〇六九
同九年	一,五三一,七六一	四三,三四二	五〇一,六〇四	一,〇三四	一,九六二,七三一	四五六,五五八	四,八八五,〇三〇
同十年	一,三四六,二六四	二九九,四二〇	五四三,〇二三	三四七	一,五七三,六五八	四三三,一五二	四,一九五,八六四

水産統計

水産物價額郡市別表

(大正十年)

郡市	漁獲物					水産製造物	合計
	魚類	介類	其他水産物	藻類	遠洋漁業		
大 阪 市	三六、二四三	三、八一	一四、九一四	二〇七	一、五三二、二三八	—	一、六八五、三二二
堺 市	二五、八六〇	二九、九五	七、八〇	—	—	—	四三、六二五
西 成 郡	七九、七三〇	四、一四	—	—	—	一六三、六八四	二八八、一三〇
東 成 郡	一七、七九八	一九	—	—	—	—	一七、九一七
三 島 郡	五、六七七	—	—	—	—	—	五、六七七
豊 能 郡	二七、〇六七	—	三五〇	—	—	—	二七、四一七
泉 北 郡	一五、〇三〇	一〇、七七	三、五二〇	—	—	—	二七、八二五
泉 南 郡	六三〇、二八三	三、六九四	四四、八四七	一四〇	四三、四三〇	八三、九一〇	一、三三三、二九四
南 河 内 郡	六八、〇七九	—	—	—	—	—	六八、〇七九
中 河 内 郡	一九、五〇九	—	—	—	—	—	一九、五〇九
北 河 内 郡	四八、三二九	—	—	—	—	—	四八、三二九
總 數	一、三四六、二六四	二九九、四二〇	五四三、九三三	三四七	一、五七三、六五八	四三、一五三	四、一九五、八六四

工業題言

經濟學者の所謂、順乎たる發達をなせる英國産業史に眼を徹するに其最後の全盛期は依然工業時代である。肯て耕地面積の少なきを憂せず、人口の弱少をも生産能率の可能性に算入し得るに、大英國の工業は總て大英國の商權であつた。翻つて我帝國の産業は、奈何なる時期にあるか。みるに、英國産業史の最後のページにはまだ、時間のデスタントを有するものである。けれども我が大阪府の工業は少なくとも手工業時代と機械工業時代の間に彷徨しつゝあるものであつて、其中心都市大阪市の殷盛は當に英のマンチエスターを以て比すべきものであらう。實に我府の工業生産額は、府生産總額の千分の九百二十三を占め、又、他府縣に比しては東京、兵庫、愛知、愛媛、京都、神奈川、福岡等の工業府縣を壓して全國に冠たるものである。其一々は一々の統計に於て示すところであるが、由來、我帝國の工業地帯は之を左記の四地方に總括するこゝが出来らるであらう。

- (一) 東京灣工業地帯
- 東京府、神奈川縣、

工業題言

工業 題言

- (二) 大阪灣工業地帯 大阪府、兵庫縣、
- (三) 伊勢灣工業地帯 愛知縣、三重縣、
- (四) 北九州工業地帯 福岡縣、佐賀縣、長崎縣、

但、北九州工業地帯は或は關門海峽工業地帯として佐賀、長崎の兩縣を除外して、山口縣を認むる見方も眞であらう。

然して今此の四つの工業地帯の生産額を大正八年の統計に依りて比較するに

東京灣工業地帯	東京府 神奈川縣	一、〇七四、八六三、千圓 三三九、七七二、千圓	一、四一四、六三五、千圓
大阪灣工業地帯	大阪府 兵庫縣	一、三二一、一一七、千圓 八二〇、〇〇七、千圓	二、一四一、一二四、千圓
伊勢灣工業地帯	愛知縣 三重縣	五八六、二三八、千圓 一六五、九〇一、千圓	七五二、一三九、千圓

北九州工業地帯	福岡縣 佐賀縣 長崎縣	三〇七、五六〇、千圓 四五、一四五、千圓 七〇、九五八、千圓	四二三、六六三、千圓
---------	-------------------	--------------------------------------	------------

關門海峽工業地帯を假想するにせば

福岡縣	三〇七、五六〇、千圓
山口縣	五八、一五二、千圓
計	三六五、七一三、千圓

右の如き表になる。若し夫れ我帝國の生産比例を百分率にすれば

農産	二七・三	礦産	四・二
蠶絲	一〇・三	水産	二・九
林産	三・六	工業	五〇・五
畜産	一・二	計	一〇〇・〇

であつて、確かに帝國は工業國としての動かぬ數を有してゐる。而も此の百分比例五〇・五の工業 題言

工業 題 言

中に有する大阪府の数は三・〇強であつて、其最小面積地が最大工産力を有することは、何よりの工業經濟論の立證であるにこそ、大阪府市自體の工業地としての立證であらねばならぬ。

けれども吾人は工業統計の大數に眩惑されてはならぬ。工業は加工であつて、他の農業其他の産業と異り原始生産ではない。或る意味に於ける無をして有に變ずるものではない。有をして矢張り或る他の異れる有に變形變質せしむるまでである。すべての勞力の以外に原價を含むことを毎に記憶しなければならぬ。工業は加工であるから結局は勞銀に歸する。敢て云ふ。前途の工業は勞銀の價値、換言すれば其質と量とに於て研究もされ、開拓もされなければならぬことを。

工業 統計

工産物價額累年比較

(單位圓)

年次	染織工業		機械及器具工業		化學工業		飲食物工業		雜工業		特別工業		計
	大正五年	同 六年	同 七年	同 八年	同 九年	同 十年	大正五年	同 六年	同 七年	同 八年	同 九年	同 十年	
大正五年	三〇九、七二二、四五二	二九五、九二六、〇四六	四九九、二六九、五七九	六二四、七九、一三三	四〇二、七六、九五三	三三七、七八、二三三	一〇〇、二七七、七五九	一四五、六三二、四八一	一三三、六三四、三〇四	六三、六〇一、四六〇	九四、〇八七、七二一	五四、二四、四七六	七八七、〇八六、四七七
同 六年	二九五、九二六、〇四六	二九五、九二六、〇四六	四九九、二六九、五七九	六二四、七九、一三三	四〇二、七六、九五三	三三七、七八、二三三	一〇〇、二七七、七五九	一四五、六三二、四八一	一三三、六三四、三〇四	六三、六〇一、四六〇	九四、〇八七、七二一	五四、二四、四七六	七八七、〇八六、四七七
同 七年	二九五、九二六、〇四六	二九五、九二六、〇四六	四九九、二六九、五七九	六二四、七九、一三三	四〇二、七六、九五三	三三七、七八、二三三	一〇〇、二七七、七五九	一四五、六三二、四八一	一三三、六三四、三〇四	六三、六〇一、四六〇	九四、〇八七、七二一	五四、二四、四七六	七八七、〇八六、四七七
同 八年	二九五、九二六、〇四六	二九五、九二六、〇四六	四九九、二六九、五七九	六二四、七九、一三三	四〇二、七六、九五三	三三七、七八、二三三	一〇〇、二七七、七五九	一四五、六三二、四八一	一三三、六三四、三〇四	六三、六〇一、四六〇	九四、〇八七、七二一	五四、二四、四七六	七八七、〇八六、四七七
同 九年	二九五、九二六、〇四六	二九五、九二六、〇四六	四九九、二六九、五七九	六二四、七九、一三三	四〇二、七六、九五三	三三七、七八、二三三	一〇〇、二七七、七五九	一四五、六三二、四八一	一三三、六三四、三〇四	六三、六〇一、四六〇	九四、〇八七、七二一	五四、二四、四七六	七八七、〇八六、四七七
同 十年	二九五、九二六、〇四六	二九五、九二六、〇四六	四九九、二六九、五七九	六二四、七九、一三三	四〇二、七六、九五三	三三七、七八、二三三	一〇〇、二七七、七五九	一四五、六三二、四八一	一三三、六三四、三〇四	六三、六〇一、四六〇	九四、〇八七、七二一	五四、二四、四七六	七八七、〇八六、四七七

工業 統計

工業統計

工產物價額郡市別表

(大正十年單位圓)

郡市	染織工業	機械及器具工業	化學工業	飲食物工業	雜工業	特別工業	合計
大阪市	九〇,〇一九,七六七	一四八,四〇一,四三八	七二,五九二,四三三	五九,九九三,四三三	七八,二九四,九〇三	六二,一五七,五六〇	五二一,四九九,五三三
堺市	一七,八九九,三三六	五,三三四,四三八	七,四六五,八九五	一四,一七三,五〇九	六,八〇〇,九八七	四七三,一六二	五二,〇二七,三二五
西成郡	七〇,九九九,〇七四	二二,一三三,〇七四	三三,三三三,五三八	五,一五八,〇八四	一〇,九八六,八四五	—	一四二,五六九,六一五
原成郡	三三,六九九,四三三	一一,二九八,五〇七	一一,四六六,四六五	一六,三九九,二五六	五五,五二八,〇三三	—	七八,三〇一,六七三
三島郡	一,九九五,六三二	五四,二七一	一,八五八,六〇二	一〇,八九八,二七二	九三四,一九	—	一五,七三〇,八八五
豊能郡	二,六〇七,二九四	三三,三四五	七〇二,三三三	一,三二五,四九一	七二,六三三	—	六,〇一六,五七三
泉北郡	二六,一九七,六三四	四二,四四〇	一,八四八,六〇〇	四一九,九四二	二,〇〇三,二二五	—	三〇,七三三,四七三
泉南郡	八〇,七〇〇,九〇八	五九七,七〇四	二,三九九,三三三	四,八三八,一五二	一,五四三,一三九	—	九〇,一七八,八〇四
南河内郡	七,四四九,五三三	四三一,八九二	一,七三〇,九三三	一,一〇六,七〇〇	九四三,一九一	—	一一,九〇八,一九六
中河内郡	一一,一〇六,四六二	三七七,九九六	二,六九一,三三三	一六一,三三四	二,一七六,二七二	—	一六,五二一,三四七
北河内郡	四,五四三,二二〇	八〇〇,二四七	三七〇,二四四	七二五,一六〇	四九八,八八二	—	一三,二五〇,三三四
合計	三四七,二七八,三三三	一九九,三七七,二六二	一三五,四三三,七三二	一五九,七五二,一〇〇	二〇〇,三三三,二七一	七〇,〇六六,六〇五	九八八,六八〇,七四八

大正十年工產物價額種類別總覽

(單位圓)

種類	價額	種類	價額	種類	價額
(染織工業)	三四七,二七八,三三三	製綿絲綿布ノ各加工	六,七〇〇,三〇二	點燈用具	七三,七三四
綿絲紡績	三三,六九九,四三三	其	一,三八一,七九四	金屬管	一四,二四二,五五七
絹絲紡績	一,二九三,八八八	(機械及器具工業)	一九〇,三七六,三六二	各種金屬材料	八,九九九,四二二
麻絲紡績	二,四三〇,八八七	銅器青銅器及真鍮器	五,五二二,八九三	車輛製造	一五,八〇二,五六五
製組編物	四,五七六,六三九	鐵製鍋釜鐵瓶類	五九一,五八三	船舶製造	一四,一七五,四一四
織物工賃	一五九,四三三,〇六五	及物類	二,一五〇,六〇五	船具及修繕	二,三三〇,三五六
染物工賃	一五,三三三,八八二	アンチモニー製	二,一九七,七〇二	被覆電線	一七〇,六九九,七〇四
黴付洗張熨斗	六七九,八二〇	アルミニウム製	三,八三三,六六四	鐵力細工	一,三八〇,四五六
西洋洗濯	三九九,五五七	針	二,一八六,八三三	計	一三,三〇〇
莫大小	三,五七二,八五二	諸機械及附屬品	三,〇〇九,一三九	他	六二,四三四,六四四
手巾	九,三三〇	器具	二,九〇二,七四九	實	一三三,四三八,七三七
カミシ	一,四二二,六三二	建築及家具用具	二,八三三,六三七		
工業統計					

工業統計

陶磁器	11,578	工業用藥品	11,555,454	油	1,184,200
硝子製品	10,837,104	醫療藥品及賣藥	9,359,733	清涼飲料水	670,911
セメント	3,081,880	セルロイド製品	2,355,184	酢	781,784
コーラス	6,133,455	護謨製品	7,459,744	味噌	766,593
煉瓦	3,153,436	化粧品	7,177,186	煙草	11,509,964
瓦	1,659,721	蠟燭	5,035,850	糖	4,946,759
土管	203,155	燭	2,391,518	砂	23,215,891
坩堝	453,443	薰物及線香	657,162	寒天	560,095
西洋紙	8,840,070	玻璃器	5,883,362	製氷	822,966
和紙	543,819	藍	4,950	精米	21,477,392
漆液	669,449	塗料及染料	9,973,233	機械製粉	928,440
製漆器	115,376	肥料	14,007,219	澱粉	905,413
燐寸	2,869,055	イソキ	1,586,284	罐詰	636,152
油類	2,132,288	其他	2,570,777	肉製品	4,915
木蠟	14,735,953	(飲食物工業)	115,987,751	豆腐類	3,528,986
	33,000		20,751,159	蒟蒻	275,597

工業統計

湯葉	94,200	其他數物	85,875	造花及花簪	5,000
製作昆布	141,000	藤製品	19,100	木櫛其他裝飾	673,814
菓子類	2,359,354	履物及部分品	5,000,390	皮革製品	8,700,607
餡類	449,541	傘及提灯	348,321	防水布及合羽	1,353,368
麵類	550,354	扇子及團扇	1,266,768	擬革及ブツククロス	791,338
靴類	548,326	帽子	5,428,626	洋傘及細工品	202,097
漬物類	552,877	刷子及刷毛	5,192,533	石材及細工品	298,355
蒲鉾	1,071,612	卸製品	1,733,410	彫刻	151,915
製茶	233,881	竹製品	1,064,480	炭製品	1,171,501
其他	1,917,326	藤製品	91,016	石綿及其加工品	258,934
(雜工業)	110,433,171	柁柳製品	74,495	雜具	161,115
文具	527,601	玩具	454,913	其他	18,444,091
製本印刷	25,568,260	樂器	33,500	(特別工業)	7,066,605
紙製品	6,292,841	洋服	2,691,003	度量衡	153,622
表裝類	496,606	足袋裝束類	7,733,609	金屬精煉	11,834,929
木製品	11,459,787	繻物	175,855	瓦斯	52,598,135
			101,933	總數	3,097,329
					968,680,748

工業統計

工業戶數郡市別表

(大正十年)

郡市	工業戶數				合計
	染織工業	機械及器具工業	化學工業	飲食物工業	
大阪市	一,五七四	三,三九三	七七一	二,〇二七	一五,六九四
堺市	五〇	四四五	九	五四八	一,四六九
西成郡	三六二	四〇六	二四八	二九二	二,七八五
東成郡	一七〇	三〇二	三三	一九八	一,四四五
三島郡	五〇	三三	四一	二七四	七,五三〇
豊能郡	二元	三三	二〇	一,〇三三	四,六七〇
泉北郡	六五二	二五	二五	一,二七九	一,四八六
泉南郡	五五〇	三三	二〇一	一,二八一	二,六一八
南河内郡	四八一	三三	五二	六二〇	一,一三〇
中河内郡	二七〇	一五	七〇	一三九	七二九
北河内郡	一五六	二八	三元	七七〇	一,一〇七
合計	四,三四四	四,七六六	二,〇〇九	八,四四〇	四八,七六三

職工總覽 其一

(大正十年)

郡市	職工總數					合計
	染織工業	機械器具工業	化學工業	飲食物工業	雜工業	
大阪市	九,二五五	三,二五五	七,九三三	五,三三八	二〇,九三九	八〇,六〇〇
堺市	一,三三二	一,六三三	八六七	一,四一六	一,〇四六	六,三四四
西成郡	七,五八四	七,〇七七	四,八六二	五,八二二	三,三五一	二四,四五六
東成郡	三,四五八	一,一六六	一,五二四	五三七	二,三三九	二四,三五六
三島郡	一,六七七	三三〇	二九三	二六九	一,〇二〇	一一,二三三
豊能郡	六〇二	四〇	四〇七	一〇三	一,〇二〇	一〇,五二〇
泉北郡	二,五〇七	一三	一八〇	一四九	三,三六六	三,四九八
泉南郡	二,五〇七	一三	六六六	一三三	五,一七六	四,七二七
合計	三三,〇七七	一三,三三二	二二,九七一	一六,一七二	七四,五五七	三三〇,二〇〇

工業統計

石炭消費高累年比較

(單位斤)

大正六年	同七年	同八年	同九年	同十年	
官業	七三九、二六、二五九	八六、二〇九、四二六	二四一、一五〇、〇四七	一六三、三六〇、七八二	一九六、一四九、九八四
公業	一〇六、四九四、六四四	一七六、四八三、二四八	一七四、〇九六、八二七	一七五、八六一、六六〇	一八三、三三六、五二三
民業	四、六三三、〇三三、〇三〇	四、八九九、六七四、八四九	四、九七二、七七二、四三〇	六、三三八、九〇九、四九六	五、三六九、三三三、〇八〇
計	五、四七八、六三三、六五三	五、九三七、五七七、五二三	五、三八八、〇一九、三〇四	六、六六八、一三一、九三八	五、七四八、八九九、五七七

【備考】

右表中官業ニ屬スルノ大阪砲兵工廠、造幣局、大阪地方專賣局、被服支廠、大阪高等工業學校、大阪遞信局、海軍部(含△)、中央郵便局、大阪刑務所、鐵道省、大阪稅關、大阪鑛務署、內務省衛生試驗所、大林區署、陸軍衛戍病院ニ消費スルモノトハ

工業統計

石炭消費高用途別表

(大正十年單位斤)

船	鐵道	工場	消毒	水道	暖房	湯屋	其他	計
官業	一、四、〇〇〇、〇〇〇	二〇九、七三六、三六八	六六、〇三七、八一	—	—	—	一九六、一四九、九八四	一、四、〇〇〇、〇〇〇
公業	三、六二二、〇〇〇	五、五二八、八〇〇	二、三六六、二八〇	一、五九六、〇三三	三七、三四四、六一	—	一八三、三三六、五二三	三、六二二、〇〇〇
民業	一、五七五、六八四、三三三	一四、一五四、三〇〇	二、八九六、八六〇、九九〇	四七、八〇〇	—	—	五、三六九、三七三、〇八〇	一、五七五、六八四、三三三
計	一、五九〇、四三六、三三二	二、九六五、二六五、〇八一	二、〇三三、八五五	三七、三四四、六一	—	—	五、七四八、八九九、五七七	一、五九〇、四三六、三三二

生産總額

生産總額

(大正十年)

産業別 (單位圓)

農畜産 林産 礦産 水産 工業 合計

農畜産	六〇、九八七、五七八	千分比例	五八・〇
林産	一一、〇五九、八二三		一一・五
礦産	三、一〇五、六六四		三・〇
水産	五二二、三八二		・五
工業	四、一九五、八六四		四・〇
合計	九六八、五四七、八八四		九二三・〇
現住一人當	一、〇四九、四〇九、一九五		一、〇〇〇・〇
現住一戸當	一、八〇九、五		三三五・二

沖繩	三七、九二九	茨城	四、七三五	巖手	一七三、二五八
山形	三、〇七五	滋賀	四、六三九	佐賀	一六八、三九四
宮崎	二、九一六	長野	四、〇三〇	山梨	一六六、六六八
鳥取	二、三九九	高知	三、三三三	德島	一六五、六六五
秋田	二、三三三	山梨	三、三九〇	奈良	一六二、六九七
滋賀	一、九五二	沖繩	三、八八四	香川	一五八、七七〇
福島	一、七〇七	宮城	三、〇八八	長崎	一五六、九四九
岐阜	九二一	青森	三、一八〇	高知	一四九、四六六
長野	九二〇	秋田	一、九〇三	宮崎	一三三、七二二
群馬	三三六	巖手	一、七五四	島根	二一九、七五四
栃木	三三三	島根	一、七九四	鳥取	一一、三九〇
奈良	元一	鳥取	一四、七二二	青森	一一、〇七〇
埼玉	二三三	宮崎	一三、二九一	福島	一〇一、五五八
山梨	二二八	福島	一七一	沖繩	九〇、二九七
—	九、九三〇	—	一七八、四九六	—	二四八、〇九〇
—	四六六、七五三	—	八、三九九、三五〇	—	一六、六三二、五六五



生産物價額各府縣比較表

Main data table with columns for '順位' (Rank), '農産物價額' (Agricultural Product Value), '畜産物價額' (Livestock Product Value), '林産物價額' (Forestry Product Value), '水産物價額' (Aquatic Product Value), and '工業物價額' (Industrial Product Value). Rows list various prefectures and their respective values.

【備考】本表ノ作成ハ大正八年ノ統計ヲ基ルモノニシテ、原料原價ヲ控除セズ、從ツテ實際ノ生産收入トハ多クノ差アルコトヲ承知サレ度、

産業別 (單位圓)

Summary table showing '産業別' (Industry Type) with categories like 農業 (Agriculture), 畜産 (Livestock), 林産 (Forestry), 水産 (Aquatic), 工業 (Industrial), and 合計 (Total). It includes values for '現住一人當' (Per capita) and '現住一戸當' (Per household), along with '千分比例' (Percentage ratio).

市 郡 別

(單位圓)

	農 産	畜 産	林 産	礦 産	水 産	工 産	合 計	千 分 比 例
大 阪 市	一三、九四二	二、五六七、九四七	—	—	一、六八五、三三二	五二、四五九、五三三	五二、八四六、七三四	四八四
堺 市	四八四、四四八	三七、一三六	—	—	四三、六五	五二、〇〇七、三二五	五二、九七二、五一四	五一
西 成 郡	二、六八〇、九九二	四、九八三、六九〇	—	—	二八八、三〇	一四二、五六九、六一五	一五〇、五三三、四三七	一四四
東 成 郡	四、四六〇、六四四	一、四四八、四九七	—	—	一七、九九七	七八、三〇一、六七三	八四、三三八、七三一	八一
三 島 郡	八、四六四、八一七	三〇、二〇四	六五八、四九八	五、三三〇	五、六三七	一五、七三〇、八八五	二五、二〇六、四〇一	二五
豐 能 郡	四、九七四、七三	五六〇、六六一	六四二、六九〇	一三四、七三	二七、四一七	六、〇一六、五七三	一一、三五五、六八七	二二
泉 南 郡	七、九八九、四九四	二五九、八八四	一八二、一四五	七二、九三	一、三三三、一九四	九〇、一七八、八〇四	一〇〇、〇〇六、五四四	九六
泉 北 郡	五、八六六、六二九	七六四、二八八	一四〇、四〇五	四〇、九〇〇	二五七、八五	三〇、七三三、四七三	三七、七三三、五一八	三六
南 河 内 郡	八、四七五、六二六	三三八、〇四七	一、四四八、九五〇	六一、一四六	六八〇、七九	一一、九〇八、一九六	三、九六二、〇三四	三三
中 河 内 郡	九、一四六、五〇四	四八六、〇三九	二〇二、七三二	一五九、四七四	一九、五〇九	一六、五二三、三四七	二六、五二七、五九四	二六
北 河 内 郡	八、三三四、二二六	三三三、四三〇	一三〇、二五七	三八、四〇六	四八、二二九	一三、二五〇、三三四	三三、一六四、七七二	三三
合 計	六〇、九八三、四七五	一三、〇五九、八二三	三、一〇五、六六四	五二二、三八二	四、九五、八六四	九六八、六八〇、七四八	一、〇四九、五四五、九五六	一、〇〇〇

但本表ノ生産總額別表ト相違セルハ國有林産物ヲ含ムニ依ルモノナリ

生産總額

商業

商業

一 商業會議所

(大阪商業會議所)

議員數	五
特別議員數	〇
會議度數	三
議事件數	四
一少年經費	101,907円

(1) 商業統計

取引所

米穀	一	仲買人	賣買出來高	受渡高
株式	一	三	七三、八三、七〇〇石	八三三、二〇〇石
三品	一	七五	一六、四八八、二五〇枚	一、一八三、〇〇枚
		五〇	(綿絲)	八、〇五二、八〇〇個
				四九、〇五個

市場

共同	青物	魚類	其他	計
個人	三	五	六	三
	七	二	五	

商業

組

重要物産同業組合
農商工準則組合
茶業組合
酒造組合

七五
七一
七
八

水産組合
漁業組合
産業組合
總計

四
二八
二〇三
三九六

會社組織別

株式	(社數)	(拂込資本金) 圓
合名	一、三三五	一、六二四、三四、〇一一
合資	一、一七五	七三、八三八、八〇〇
株式合資	六六七	一三一、三四九、五三五
總計	三、一七〇	六二六、五〇〇
		一、八一九、一五八、八四六

會社業體別

農業	(社數)	(拂込資本金) 圓
工業	一八	一六、七七、三八八
商業	一、三九一	五九三、四七六、七四八
商業	一、五四〇	八五一、九四九、〇七二
水産業	五	一九七、七一九、五五〇
運輸業	六	四、一六二、〇〇〇
總計	三、一七〇	一、八一九、一五八、八四六

商業

金融

貯蓄銀行	本店	一
支店	管内ニ本店アルモ 管外ニ本店アルモ	二四 四二
普通銀行	本店	四八
支店	管内ニ本店アルモ 管外ニ本店アルモ	一一二 六〇
特殊銀行	本店	一
支店		五

銀行拂込資本金

預金	預金高	三三、四一七、九六三圓
年末現在		一、六〇九、一九九、六一九圓
貸附高	貸附高	一、〇九七、一三一、一三三圓
年末現金		一、〇九七、一三一、一三三圓
銀行爲替	外國	買 受 二四七、七二七、三九四 賣 受 一三二、三三三、六四一
	內國	取立 受 二、三二二、九六六、六六三 送金 發 二、一七二、七六二、三二八 受 二、七五六、五五三、五七九

手形交換

組合銀行	交換高	三三、九五五、四五六、二四五圓
郵便爲替		四、三〇七、一九八圓
振出	外國	六二、一七四圓
	內國	四、三〇七、一九八圓
拂渡	外國	一〇八、九九三圓
	內國	五、三〇〇、六六九圓
貨屋	口數	三、三三三、一四七
金額	(年末現在)	八、七六六、〇四〇圓
不動産	件數	三、四九九
船舶登記料	金額	二九、三三七、六〇八

海陸出貨品種別噸數價額表

(大正十年)

種別	海運	陸運	價額計
米	二五、七〇九	四七、三二八	一五、〇九五、〇八七
麥	一、五五〇	六、四三六	九〇九、八三四
豆	一六、五二六	三、四〇三	三、四七六、九九九
雜穀	一一、五四一	一四、三三八	二、六七九、九三九
砂糖	九〇、九五七	一一、三五六	五、四〇六、二二七
菓子	六、九〇三	一、三三八	三、六五〇、三三七
鹽	四、四〇〇	三、八四二	二、〇八二、三三〇
和酒	三、八〇八	一五、七七七	一五、三三四、四三三
洋酒	一六、九〇五	六、三三〇	六、八八八、九三〇
茶	二、五四四	三、七〇〇	一、八七〇、四五〇
飲料品	五、一六五	三、〇六五	六、五八八、四七六
煙草	二、三六三	三、〇三五	一四、一八六、二五〇
醸造品	二、六八〇	六、九九九	二、七九二、七六六
海陸出貨品種別噸數價額表			
種別	海運	陸運	價額計
蔬菜	四、一〇一	八、二五七	四、一〇一
果實	一三、九九九	三〇、八九八	一三、九九九
鮮魚	二、七七七	一四、六六一	二、七七七
乾魚	六、八五五	一六、〇三四	六、八五五
乾物	一〇、一一四	二、七七二	一〇、一一四
穀粉及澱粉	九、一〇二	七、九四三	九、一〇二
昆布	五、六二五	一	五、六二五
海草	一、一四〇	一	一、一四〇
其他	三、一九七	三、三三三	三、一九七
石炭	二六、九四五	二六、五二八	二六、九四五
コークス	八、七〇五	五、五六、五三三	八、七〇五
燐礦石	一一、四三九	一六、一三五	一一、四三九
木皮	九六一	五、〇二二	九六一

海陸出貨品種別噸數價額表

石 材	八九九	二七、七〇六	九一五、八六七	セメント	二四、七六四	九一、九〇八	五、〇二八、四二二
土 及 砂	三三、〇一〇	一四、六〇八	一〇一、一三〇	煉瓦及瓦	一九、八六四	一〇、五〇二	七五五、三八〇
木 材	二二〇、九二二	一八三、四九五	一六、二五六、〇三八	人造肥料	六六、三六六	九九、三三八	一七、三八八、六五四
竹材及籐	二、八二七	八九一	二〇六、三三八	豆粕肥料	九、二〇四	七、九一三	一、二二五、三〇七
薪 炭	二、六四〇	四八、七八二	一、一六五、五〇〇	其他肥料	二二、三六五	一一五、三八八	三、九二二、四三〇
棉 花	三三、六七八	一四八、一四八	四四、二四、六七六	經木及麥稈真田	四、〇二七	二、五三〇	三、三四九、六三七
棉 實	四八三	二〇、六三五	二、〇〇六、四二二	加工材木	三九、一二五	—	四、一七、三〇〇
パルプ	三、八三三	二四、六三八	三、〇二七、四四八	綿 絲	二二、六七四	二九、三四五	四七五、二四一、五八三
襪及屑物	九、六五八	一、二六八	四〇五、三三八	其他糸	七、九〇六	一、五一一	二八、五五〇、九五〇
獸皮及獸骨	一、四〇四	一三、四九三	三、四〇八、〇三四	礦 油	四〇、一七七	二二、一一五	一〇、五一一、五三三
獸毛類	一八四	三、三九八	六、七三〇、〇七一	油脂及蠟	三、六〇九	二、三三六	二、九三三、六五九
麻等及棕枳	二、八九六	七、〇三二	四、八三一、七三五	染塗料	二九、九〇二	九、〇四四	一、九五四、二五九
菜 子	七八	—	九、三六〇	工業用藥品	四、八五九	三、三九二	一、七〇四、七七八
其 他	一一、二八八	九、五四三	二、四一九、八四七	其 他	三、〇三九	五、二九九	五、八四五、〇七九
鋼及鐵銅	二八二、三四二	二四、〇二八	一六、四七九、三六九	紙製 品	九、九七五	—	三、四四〇、三二九
金 屬 材	三三、六四四	五、五八一	三六、九三六、六三五	疊表及真產	四、〇七四	三、六三三	一、四〇二、二五四

海陸出貨品種別噸數價額表

蕨及棕枳製品	一四、一七〇	九、〇四〇	一、八七七、四七〇	荒 物	七、一五〇	—	一、四〇三、二二七
苧麻製品	一四、五三〇	五二	六、五七九、八四八	刷子及刷毛	三、三三〇	三九四	八〇〇、六六〇
燐 寸	二八、二四〇	二、八八八	一、五七二、三五七	家 具	一三、五一八	一、一〇四	三、三二八、九九四
絹布類	七三四	一一五	六、六七八、〇七二	綿布類	一八七、九二八	八四、八四七	三三二、六六八、一五五
鐵 管	二八、四二五	—	八、二八〇、一九〇	毛及麻織物	一四、二九三	三、三三六	三六、四四四、〇八九
鐵 製 品	九七、七〇三	一〇一、七五三	六三、九四六、九一七	其他織物	五、六六二	一〇七	二四、二七六、一六三
金 屬 線	二二、七五三	二、七四二	九、六四三、六三九	布帛製品	九、五二九	—	三、二四七、五三八
金 屬 製 品	二六、二八〇	〇	二五、七二五、二九四	莫大小及タール	二五、八九七	八、五〇〇	三二、四五六、七三一
金屬製機械	一五、八二二	二五、一八九	四、六三三、六〇四	被 服	九、八四六	—	八、八七二、六七二
電氣用品	一六、二二七	三四五	一三、一〇三、六六六	洋 傘	二、〇四九	—	一、四六三、三六五
木竹及籐製品	四、六三三	三、〇七	一〇、五三三、八四四	帽 子	一一、二一八	四、五三	二二、四九五、二一〇
硝子及同製品	八三、七五五	三五、八六	二〇、三三四、九九五	石 鹼	一四、四二二	一、九八〇	九、六九四、〇九二
皮革製品	二、二九五	—	六二七、七五一	小間物類	一九、四三四	—	六、二〇五、六三七
護膜製品	五、二一〇	四三三	八、六五四、八二八	文房具	一四、三二一	六七四	一八、八八九、二八四
漆 器	五、六三二	一、八七四	二、三八五、四六八	玩 具	五、二九四	一九八	二、七九五、四二八
陶磁器	二五、一一五	七、一〇七	四、〇三三、一四三	和洋紙	六四、三五九	四、八四六	五二、一六二、八四八

海陸出貨品種別噸數價額表

藥品	一七、九三三	一八、六三六	五四、七九八、二九五
履物及附屬品	一三、八三七	二七四	三六、九一一、五三一
車輛	一〇、一九五	一六	五、三三、二四
容器	二五、四一五	二〇、四二八	一、三六三、四〇二
雜品	一三、九三五	一、四六五、二六七	一、一八九、九七六、六九五
金銀塊寶石(個)	一四一	—	三六五、一九〇
種子及苗木	二、一四一	一六、三四四	一、五四四、一四五
生鳥(籠)	一〇一	—	一、八二八
牛馬(頭)	八二	一、七四七	一五二、八六八
其他	五六七	一六、五五二	三三一、〇三五
總計	二五五、四七〇	三九七、三〇八	六、五八、四七九

但陸運噸數は海運噸數に換算して比較を

採れり

海陸入貨品種別噸數價額表

(大正十年)

海陸入貨品種別噸數價額表

種別	海運	陸運	價額計	種別	海運	陸運	價額計
米	二七三、五〇九	二七、七四一	八三、四八一、八四四	蔬菜	一八、二六七	七、九八一	二、五五五、八三七
麥	八、四二二	三、五九二	一、三五六、六九六	果實	三〇、八三二	三、七七一	四、四〇七、七七
豆	七、八六七	四三八	六、八三三、三九五	鮮魚	五〇、九六一	七五、六四三	七九、七五九、七〇一
雜穀	三四、六六〇	二、一三三	四、四三一、四〇八	乾魚	三五、〇〇五	二六、四〇三	一六、四九九、三八
砂糖	三五六、九六〇	三、三四三	九〇、六四五、五四〇	鳥獸肉	二、六六七	一、九八八	一、〇二二、三五七
菓子	一、三九二	二、九七二	一、八〇六、七七二	乾物	二、五二八	一〇、五六六	五、六三九、九三四
鹽	二四、三八五	二二	八八八、九六〇	穀粉及澱粉	一三、〇四七	一三、一一〇	三、一三四、三一一
和酒	四九、一五九	三三、一〇五	二二、一四四、一〇三	昆布	一一、三五八	—	一、八九六、七八六
洋酒	四、六九一	三九、二二	一一、六七、七五一	海草	七、三八三	五、七九五	二、三三八、五二二
茶	五七四	三、一八八	一、八四〇、七八	其他	四九、五九三	一三、九九七	三、八四九、九四七
飲料品	二二七	一六、六四一	一、三六六、八二四	石炭	二、四八九、二四六	九、八二一	四六、〇〇九、三三七
煙草	一五、〇八四	四八、六八三	一七、九三三、八〇五	コークス	六、三三三	四、六五七	三七五、二五三
鹽造品	八、〇五七	九、一五六	二、五〇八、七七四	燐礦石	二七五、二九七	四七、三三九	七、三六四、三九二

海陸入貨品種別噸數價額表

木皮	八〇七六	—	七二、九二二	金屬材	四七、八五三	三、二九三	三三、九九二、〇二六
石材	八六、八〇〇	一〇、八二七	三、一六八、二八四	セメント	八六、〇七〇	一、七七〇	二、六六五、三五一
土及砂	一一〇、二六六	一〇六、三三八	八六六、四一六	煉瓦及瓦	四七、六五九	四四、二六四	二、二〇七、七一
木材	三六、〇四三	二四八、〇九六	三、四六一、八八一	人造肥料	三五、三二〇	九三	三、七五三、五五一
竹材及籐	一五、九六五	二二二	九九〇、二六二	豆粕肥料	四七、三二一	九三	三、三六五、六八四
薪炭	一九七、九五四	二二八、七〇〇	六、〇九五、三二四	其他肥料	六〇、三三八	一六、八一九	二、一五六、九三二
棉花	一七九、三五六	三五、二〇〇	五五、六九二、三八四	經木及麥稈真田	一、四三八	二、八九三	二、三八一、三四三
棉實	八五、三八二	—	八、一四、〇六九	加工木材	一五、一八〇	一、八九五	一、七二三、三八〇
パルプ	一四、四三三	一八、一八二	四、四八一、二五九	綿糸	三五、四八一	一〇九、三七三	二六八、九〇六、三八八
襪及屑物	八、三三九	五五六	三四〇、六四三	其他糸	四、八七一	一六二	三、一四八、四八六
獸皮及獸骨	一八、六九三	二二、六二八	一一、四三七、一六九	油脂及蠟	二七、六八一	一一、五二八	一〇、三二一、〇一五
羽毛類	二、四三八	六、三六四	一四、九二四、八一八	染料	八、七〇六	八、四六九	一〇、五〇五、一三
麻苧及棕桐	九、七〇一	六、七四〇	七、六三三、七二二	工業用藥品	七八、八一〇	五、三〇七	一九、三七一、二六
菜子	二二五	—	二八、七六六	其他	三〇、〇〇一	八四、五七九	一七、七八〇、八九
其他	一八、四二五	二、六九三	二、四四四、七九	疊表及菓產	九、九七七	一一、四七〇	四、七三五、三六六
鋼鐵及銅	五二二、一三二	五〇、五四四	一九九、六九三、五六八	藥及棕桐製品	一一、四四六	一八、八四〇	一、六三三、九九八

海陸入貨品種別噸數價額表

麻苧製品	一、三七五	二〇	六〇六、一八八	家具	四、五二五	一六、三九九	六、一九一、七九〇
燐寸	五四九	一四〇	七〇、〇〇四	綿布類	二二、二二二	一九五、四五一	三〇八、二七九、四二七
鐵管	三、八六七	—	一、〇五、一三〇	毛織物	六六、九四	一七、六三	五、〇五六、七一九
鐵製品	三三、七二一	—	一七、二四九、二八〇	其他織物	二、五六〇	一九九	七、三六九、五三三
金屬線	八、七八〇	二六	三、一九五、四三七	絹布類	二二	一、七四七	七、八九一、一七〇
金屬製品	九、六六三	—	九、二四七、四九一	廢物及附屬品	一、七三七	二、五六四	一一、二四六、〇六九
金屬製機械	三、九八八	—	一四、二九七、六五四	石製品	二、五六三	二〇	三〇九、七九〇
電氣用品	四七、一五七	—	三七、二四一、五四八	布帛製品	一、一九八	—	四〇六、七八一
木竹及藤製品	二二、三五	六、一五	四、二〇八、七七四	莫大小及タカ	二、二四五	二、二二三	三、九七四、〇〇八
硝子及同製品	二二、七三六	八、二九二	五、〇九四、四三二	被服	四、三三八	—	三、九九九、二六七
皮革製品	三四一	—	一三七、三三七	洋傘	一〇	一四四	一八四、〇三三
護膜製品	八、六五八	三、〇八〇	一五、六〇〇、四四〇	帽子	三、二七〇	三〇〇	四、六二二、五五〇
漆器	一、九〇二	五、三三八	二、二七九、六五〇	石鹼	八三八	五七八	八五八、五一六
陶磁器	八、一五五	三七、四三三	七、二八三、四九三	小間物及化粧品	一、三八四	—	四二二、〇二
荒物	一、六八七	—	三六、五四一	文房具	四九一	四八四	一、一八七、三七八
刷子及刷毛	三七四	—	七八、〇三八	玩弄品	三九	二二	三三八、一四一

海陸入貨品種別噸數價額表

和洋紙	六〇,〇二八	八三,〇三二	六二,二八一,五七六
藥品	一五,〇五九	一四,二六五	四四,八四八,〇三七
賣藥	八〇二	—	九六一,二〇〇
車輛	六七二	九九二	八二二,九八六
容器	七,一八九	六,九五八	四二六,〇〇五
雜貨	六九,三八九	九二,五二〇	五四三,四三八,五二九
金銀塊寶石(個)	一,三六七	四七	三,六七四,四八〇
種子及苗木	二五,七六九	一三九	八,七五〇,九五五
生鳥(籠)	一四,六七〇	一四	二六四,三二二
牛馬(頭)	五,四九八	一〇,九三七	二,四七九,八七六
其他	二八,六二七	六,七八五	一,一五二,三六六
總計	九,五七二,五九八	一〇,八九五,三三七	二,四七六,〇〇一,八八六

(口) 外國貿易

大阪港貿易品價額累年比較

年次	輸 出		輸 入		計
	噸	價	噸	價	
大正元年	五七,三二二,八九六	二六,五八二,六三四	八三,八九五,五二〇	二五,七三五,三〇〇	三三,五二〇,七五三
大正二年	七三,四五一,四五〇	四一,六七五,五二九	一一五,二七,九七九	三三,三六,八一五	三三,一八七,二五八
大正三年	七四,三四二,七〇八	四一,四〇六,〇五四	一一五,七四八,七六二	一九,七三二,五九二	三四,六五〇,九七〇
大正四年	九三,八三二,六三六	五〇,六一〇,九五四	一四四,四三三,五九〇	二二,一〇三,五九五	四一,二七九,六八四
大正五年	一四一,八〇五,二四七	八一,九八〇,七〇五	二三三,七八五,九五二	二九,三六六,四九四	四六,六六八,四〇七
大正六年	二五五,三二六,七七	九三,六四一,六二一	三四八,九八八,三三八	四〇,五二八,七〇九	六〇,五九七,九二七
大正七年	四〇五,八二五,一七	一三七,五三八,四四二	五四三,三六三,五五九	五二,八三〇,八一	九七,五三四,七八一
大正八年	四三八,八三七,一六九	一六七,六七〇,五一九	六〇六,五〇七,六八八	一〇二,五九八,三四〇	一七九,二九五,九〇三
大正九年	四七二,〇〇六,五三三	一八五,七七七,三二五	六五七,七八三,八四七	?	?
大正十年	二九二,〇五七,九二七	一一八,八七二,五三四	四一〇,九三〇,四四一	?	?

大阪港貿易品價額累年比較

神戸港貿易品品累年比較

神戸港貿易品品累年比較

年次	輸 出		移 出		輸 入		移 入	
	輸 出	計	移 出	計	輸 入	計	移 入	計
大正元年	三〇二,一九九,八〇三	一五〇,四七五,八七一	二,五三八,三〇〇	二,九六五,九七九	五,五〇四,二七九	五,五〇四,二七九		
大正二年	三〇六,六八八,九七七	一七〇,四七〇,〇三九	二,八七四,二二九	二,四七四,三〇〇	五,三四八,四七九	五,三四八,四七九		
大正三年	二八一,九九九,九二一	一六七,五三三,六三六	三,〇三四,四七九	二,六〇六,五四〇	五,六四一,〇二八	五,六四一,〇二八		
大正四年	二六九,二六六,三九八	一九七,五九七,八三〇	三,五八一,六九二	二,六八一,六二五	六,二六三,三二七	六,二六三,三二七		
大正五年	三七四,〇九七,〇七〇	三三一,一〇四,六四〇	三,九七二,八〇八	三,六二二,七四三	七,〇九六,五五二	七,〇九六,五五二		
大正六年	五三〇,九二九,〇四一	四七九,七七〇,八八九	七,三七七,三六六	五,〇五六,九三九	一二,三七四,三〇五	一二,三七四,三〇五		
大正七年	七八四,三二〇,三三四	五三九,三五〇,三九二	一五,〇九五,七七七	一三,七二六,〇七一	二八,八二二,八四八	二八,八二二,八四八		
大正八年	一,〇一五,一四一,七六〇	四四三,二四九,二六一	一三,六一五,一六二	一四,六三〇,九九七	二八,二四六,一五九	二八,二四六,一五九		
大正九年	一,二七,五七六,八三五	五八,八九七,五二一	?	?	?	?		
大正十年	三三九,一四四,三九九	七六八,二〇九,三六二	?	?	?	?		

(大阪府ノ貿易品ハ直接神戸税關ヲ經由スルモノ少カラズ依テ参考ノ爲メ本表ヲ掲グ)

大阪港外國貿易國別表

國別	輸 出		輸 入	
	輸 出	計	輸 入	計
支 那	大正十年 一七二,七五九,九九六	大正九年 一三五,二四〇,九三三	大正十年 四一,四九一,五二二	大正九年 五二,七五九,三〇五
關 東 洲	一,三二五,四七〇	六〇,七六三,八六三	七,七六六,四五五	一〇,三四四,六七九
香 港	一五,三五九,七六七	二〇,二七八,六〇六	一五六,六七九	二四,八三〇
英領印度	三元,四六九,九二〇	九一,二四三,九六〇	二二,四四六,二五六	五七,〇二四,〇七二
英領海峽殖民地	二,二七八,三九五	六,二二一,六二二	六五五,〇二八	二八一,九一四
蘭領印度	一三,七五五,〇六三	三四,四二二,五〇七	一三,四三二,八九八	一三,三五八,九九〇
佛領印度	二,七四八	二四,三二〇	二,二二七,五二八	二,一九四,九三九
露領亞細亞	二,〇六八,一七二	一,三四四,一七〇	一九三,四五二	八八九,四九九
比律賓諸島	七七七,八六五	二,〇〇二,五二八	一,五二二,四八七	一,五二〇,二九七
亞細亞其他ノ諸國	六六九,九八五	一,〇二四,九九〇	四一〇,一三八	五〇九,二七四
英 吉 利	五七六,三四三	三,二八一,〇九八	六,五三七,二五六	七,九八〇,三五九
佛 蘭 西	一九,五七〇	五七,一三三	四二二,四四八	七七二,四二八

大阪港外國貿易國別表

大阪港外國貿易國別表

獨逸	白耳義	伊太利	和蘭	瑞典及諾威	歐羅巴其他ノ諸國	北米合衆國	亞米利加其他諸國	濠太刺利	其他ノ諸國	不詳	總計
二〇,八一	二二,八〇七	一〇三	四,三六六	三〇三	一	一,一七〇,〇〇九	二八三,六八七	五五九,五〇〇	九三,〇六六	—	二九二,〇五七,九七
八一,八八二	三三,一四二	五九,〇一八	四,七八二	—	九三,七〇七	七,七四三,一〇三	二,六九八,八九七	二,三九八,六三三	二,四八五,四六三	—	四七三,〇〇六,五三一
—	五八,八九三	一三,九九〇	五,四二五	—	一,一九八	五,〇〇一,〇八四	一,六四六,三三三	一,二八二,〇八二	二,〇〇四,〇五七	—	四三三,八八七,一六九
—	八一,六三三	一四,八九八	一三,四〇五	一七九,八〇五	一,四八〇,二八四	一五,五四一,五四三	九五六,七四二	二四,八九八	二,三五〇,二五八	六〇三,二四七	二一八,八七二,五三四
四二五,〇七四	一九七,一四五	一,二八九	五三四,五二七	三九,四三二	一九九,八八三	二六,七八一,〇七二	二九〇,〇六七	一,八五六,二五五	五,五四一,三三五	一,四三二,七六一	一八五,七七七,三三五
八三,三三〇	一,四五六	五六,一二五	九,八二六	三二,三三六	四〇九,二五三	三四,七七七,四七一	二,一〇七,四四九	四三九,一三一	二,七六七,七九八	七五八,七一九	一六七,六七〇,五一九

大阪港外國貿易輸出入別

其一

輸出之部

品名	單位	大正十年		大正九年		大正八年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
豆類	斤	四一〇,五〇〇	四二,五八三	三五八,〇〇六	五三,二四四	四四三,二四七	六六,四二五
昆布及刻昆布	同	一,六二七,〇〇〇	三三九,七五四	一,八六一,八二七	二四七,八六四	二,六七八,二六九	三〇八,七四四
乾魚及鹹魚	同	二二七,九〇〇	七七,六四三	一七七,三三九	六五,七九三	三三〇,三八一	一一〇,七八八
椎茸	同	四九,九〇〇	二二,八九八	一〇四,六七七	三五五,三七三	二〇三,九五二	四一八,九六八
蜜柑	同	五,一四九,三〇〇	四四六,三八四	一〇,九四二,四五三	九四八,〇七二	一一,一九五,七三三	八八八,五六六
其他ノ諸品	—	—	二七三,六二二	—	二六〇,〇六一	—	三八,五三四
總數 (食料粗製品)	—	—	一,一九八,八八三	—	一,〇二〇,九四四	—	二,一七三,〇〇〇
穀粉及澱粉類	斤	一,一九九,二〇〇	二四九,一五二	九一五,九一九	一九九,四六一	二,六三二,六七	六一五,二六一
總數 (食料製造品)	—	—	二四九,一五二	—	一九九,四六一	—	六,八四八,四七七

大阪港外國貿易輸出入別

大阪港外國貿易輸出入別

製	茶	斤	二四二,〇〇〇	一四八,六六三	三七,〇七六	一七五,二六	三四七,八九一	一六一,三七八
寒	天	同	一八二,五八	一九五,九〇〇	一九一,三六	二九一,二九七	二〇二,三六一	三二六,四八二
糖	節	同	—	—	三七,六九二	六七,一三五	五二,五八七	七四,〇三三
精	糖	同	二,五四八,三〇〇	四一四,一七六	八,二四,〇一〇	一,八三三,四三六	七,三二〇,七七一	一,三五一,九一八
清	酒	升	—	—	—	—	—	—
麥	酒	打	一六七,七二五	—	—	—	—	—
味	油	斤	五七四,七〇〇	八四六,六六三	六八五,九五〇	一,〇二二,八七一	一,二五六,二四二	一,五〇五,二二三
醬	油	升	一六七,七二六	八八九,七二二	五八,六五三	二七四,四三八	一五四,六六四	五〇九,四八四
罐詰及罐詰食物	油	升	五二四,〇〇〇	七三,九九七	四五二,一五四	九四,八三四	六五九,一六四	一一七,四三四
紙卷煙草	千箇	—	二二九,五〇〇	一四四,七五五	一五七,四〇六	一四七,九一六	一四九,七三〇	九三,六五五
其他ノ諸品	—	—	—	—	—	—	—	—
(原料用品)	總數	—	—	—	—	—	—	—
木材及板	—	—	—	—	—	—	—	—
肥料	—	—	—	—	—	—	—	—

大阪港外國貿易輸出入別

其他ノ諸品	—	—	—	—	—	—	—	—
(原料用品)	總數	—	—	—	—	—	—	—
革	子	斤	四七,七三三	四六六,八三三	五六五,八四二	八六二,七四九	七六八,五五二	一,三八一,五一四
菜	油	同	—	—	—	—	—	—
硫	酸	斤	二七四,九〇〇	七,五六七	三八七,三八一	二九,八九九	二六八,〇二九	一〇八,四七五
醋	酸	同	—	—	—	—	—	—
晒	粉	斤	二六〇,三〇〇	八六,九四一	九三九,七九	二八二,八八〇	二,六六一,九七五	一,三八,四六一
打	綿	斤	一,一七五,八〇〇	一八一,〇七五	一,二二八,六五九	三三九,六〇六	一,五八八,六二五	一,一八七,七五三
綿織絲(甘番迄)	斤	—	—	—	—	—	—	—
綿織絲(甘番以上)	同	—	—	—	—	—	—	—
鐵	管	同	—	—	—	—	—	—
銅(塊及錠)	同	—	—	—	—	—	—	—
銅板	同	—	—	—	—	—	—	—
真鍮板黃銅板	同	—	—	—	—	—	—	—
亞鉛(塊及錠)	同	—	—	—	—	—	—	—

大阪港外國貿易輸出入別

手袋	打	一三、九〇九	二四、五〇三	三三、四六七	六七〇、六一六	三〇九、〇一三	八三、九七一
靴	足袋	同	二九一、四三三	六七二、五八七	一、六二二、一七七	一、〇五四、八四八	二、六六三、〇一一
帽	子		一、五五二、五九二		一、七八三、二八九		一、七三三、八九九
履物			五四四、五五七		五六九、七二〇		五六八、九八四
紐釦			一、一〇六、九二二		一、六四二、三八九		一、六六三、六五六
帶類			一八一、八三四		一七七、〇五九		一八七、三〇四
洋類			四〇〇、二九五		八二八、四八四		一、二四九、四七三
(印刷料紙)	斤	一四、四九、二〇〇	三、七二四、四三三	九、二八、一九六	二、九五三、八三六	一〇、八五七、七三三	三、四六一、八五八
同其他			三、三三三、一七八		三、〇八四、二九三		三、五〇五、〇六七
速史紙	刀			二五三、二六四	三三四、九九七	一、九三二、五五七	二、〇〇四、二二七
セメント	斤	一〇、一九二、九〇〇	二八二、六四二	一五、六〇七、九七七	五六六、九五六	一〇、三二一、八二九	二六二、三五〇
陶磁器			一、二二〇、四〇八		一、六七六、三八六		一、九五五、六七五
硝子	打	二、七九九、二三五	一、六六九、七九三	三、〇〇〇、〇九一	二、八五八、三二四	三、〇二二、四五〇	一、五九八、九〇三
硝子鏡筒		三、五〇六、〇〇〇	九五三、四三九	三、九二〇、三九一	一、一五八、一五〇	六、一三〇、〇九二	一、三九六、八七〇
其他硝子及同製品			二、二八八、五一八		三、一四八、六五七		一、八九九、八五五
絶縁電線	斤	一、三九六、四〇〇	九九七、六八八	三、一五二、七五六	二、四六九、七五二	三、五二九、四三一	二、三三五、〇九九

大阪港外國貿易輸出入別

農工匠具			一六三、〇一五		四三二、〇二〇		四八一、七七四
鐵鍋及釜					二二八、八七五		一一一、五〇三
鐵製品(玻璃シタル)			一、三三八、五三三		一、四三五、五二二		一、七八二、二七五
同其他			二、七六七、八三五		六、二〇、八七七		七、〇三八、一四〇
掛時計及置時計	箇	二六、〇一四	一三三、六二四	三七、六九三	二九、九六九	六九、一九三	三三七、七七九
學術用具			三五三、一四五		四二七、五二六		四六六、四五二
船舶	隻			七	一、六三二、八〇一		六、一八九、八〇三
其他ノ諸機械及部分品			五、七四〇、〇三三		五、八九八、八三八		一、〇八一、一三七
洋傘	箇	三、九二一、二八〇	五三二、五三三	四二二、八九〇	九四七、五六〇	六七八、八〇四	一、〇八一、一三七
木製品			四二九、五五五		六三七、七七九		六三四、五八一
漆器			一〇九、五六八		一三三、一三五		一三四、三四一
アラツシユ			一、〇八五、七七一		三、一八四、八〇〇		二、九八七、一七九
ランプ及部分品			一、五二四、四六〇		二、三三二、五八二		一、六七四、三七四
鞆、行李、籠、佩袋類			二五三、八〇九		三〇七、一六九		八三六、一〇〇
扇子及團扇(紙張)本		五八三、〇〇〇	三七、二一一	一、三三三、九二三	一一七、三四七	二、四三七、九七六	一九七、二六一
玩具			六九、三三七		一、三七六、七八四		九七四、三九八
其他ノ諸品			三三、九八二、三二六		二七、九四六、三一一		二五、七九六、〇七二
雜品			四、三〇五、九六七		二、八〇八、四二二		二、六四六、八〇〇
總計			一、七九、〇四、二一七		一、七九、〇四、二一七		一、七九、〇四、二一七

大阪港外國貿易輸出入別

大阪港外國貿易輸出入別 其二

輸入之部

品名	單位	大正十年		大正九年		大正八年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
總(食料粗製品)數		—	6,118,001	—	6,859,355	—	16,571,914
米	擔	—	—	—	—	—	—
大豆	同	—	—	—	—	—	—
小豆	同	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	斤	—	—	—	—	—	—
總(食料製造品)數		—	14,664,675	—	14,446,847	—	15,774,840
粗糖	擔	—	—	—	—	—	—
糖	同	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	斤	—	—	—	—	—	—
總數		—	—	—	—	—	—

大阪港外國貿易輸出入別

葡萄 酒利	斤	—	—	—	—	—	—
茶	斤	—	—	—	—	—	—
インフアントフード	同	—	—	—	—	—	—
コンデンスミルク	同	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	斤	—	—	—	—	—	—
總(原料品)數		—	103,184,104	—	103,184,104	—	86,502,102
硼酸曹達(硼砂)斤		—	—	—	—	—	—
豚毛	同	—	—	—	—	—	—
牛皮及水牛皮	同	—	—	—	—	—	—
綿子	擔	—	—	—	—	—	—
菜子及芥子	同	—	—	—	—	—	—
鹿皮	斤	—	—	—	—	—	—
其他ノ皮類	同	—	—	—	—	—	—
漆	同	—	—	—	—	—	—
花梨木鐵刀木	同	—	—	—	—	—	—
紫檀類	同	—	—	—	—	—	—

大阪港外國貿易輸出入別

桐	同	二、九七〇、八〇〇	四、六八一、〇二七	一三、〇〇七、四二三	三、〇一五、三三四	一〇、八九六、三〇四	一、五四三、二四五
獸骨	同	七五四、三〇〇	三五、八二六	二七、〇二一	一九一、三三二	二四四、八一	二六四、〇三五
實綿	同	一八、六六八	二、三二、一三八	四、五三七	六〇、六〇三	八、一五四	二二二、四八六
線綿	同	四五一、三三九	二〇、七〇四、五五〇	七、八、六二〇	五七、二八〇、二〇二	五九一、一九四	四六、二九三、九八九
亞麻、苧麻及ラミ類	斤	五、八八二、七〇〇	一、三三九、六三八	五、二六八、〇〇六	一、七四七、二〇四	八、九一八、六七七	二、六五三、七六六
大麻、黃麻及マニラ麻	同	四、〇三四、七〇〇	四九九、三四七	二、五六一、〇四三	五七二、六三一	二、〇二二、七三三	三九八、八三六
其他ノ植物纖維	同	三、三三、七〇〇	六七四、三六七	一、〇五七、八七九	三三五、二〇〇	一、三〇三、二七	四四九、八五一
羊毛	斤	五二、一〇〇	六、五八〇	九八〇、七三二	九一三、九八二	二、〇二九、六八一	一、六五九、七一四
山羊及駱駝毛	同	二〇、六〇一、〇〇〇	八九、一六九	二〇二、三五二	一六五、〇三九	三六七、五三二	三五九、一九〇
礫石	同	一、〇六一、六九七	七、二六、八三五	一、九六一、一六九	七、四四三、六六六	九八七、五九八	二、三三三、三六一
礫石	同	—	—	—	二三五、一八七	—	一一、四二二
肥料	同	—	一、六九六、六六二	—	四、三二二、六〇〇	—	二、三三六、四六五
其他ノ諸品	同	—	一〇、〇五八、九六三	—	一三、三五九、七六九	—	一〇、一七三、三六六
(原料用製品)總數	同	—	二、五九五、七九	—	二、七五九、四九五	—	二、九七〇、〇六五
パラフィン蠟	斤	八、二九八、五〇〇	二、三七二、一五七	九、七三五、〇七二	二、九一三、四二八	八、二九七、六〇二	二、四九四、五七二

大阪港外國貿易輸出入別

柏油漆及燻煙	同	—	—	〇	〇	一六〇	七四
アニリン染料	同	四、八二二	一九六、三七〇	八、七五七	五三七、七五〇	四一、五〇五	二六八、九九五
獸脂	同	三、四六、〇〇〇	七二、八九八	五、一八、三七二	一、九二六、五九三	二、八〇〇、八八九	九八五、三五二
苛性曹達(粗製)	同	八〇、〇〇〇	二五〇	二九七、九八三	六七、〇三八	一、七三四、一六六	二八、七七一
曹達	斤	一六、三〇二、六〇〇	五、二八、六七二	四、五三四、七四七	二九六、〇五〇	二、四一七、五七六	二四九、四六七
野蠶糸	同	八四、九二、〇〇〇	五、四八一、三三八	三、九四、三三〇	三、一五、四〇六	二、五三三、二四九	二、一一一、三三四
塊鐵及錠鐵(其他)	同	三、九九、二〇〇	二、二〇九、四七九	九、〇九〇、一一七	六、〇七四、〇五七	三五、六二九、八五〇	四四一〇、五八六
アルミニウム(塊錠及粒)	同	二、四六、五〇〇	二二一、四七六	三三〇、〇三一	二〇五、九六七	—	五五、八二九
アンチモニー(同)	同	一、〇六二、七〇〇	一〇三、四四五	三二一、五九〇	四〇、四八一	一、四二九、八二六	二五五、二二五
條竿テーパーン	同	一一、〇二六、六〇〇	一、二、四四四、八六〇	二〇、五七七、〇六二	二、六五七、二五六	八、四〇一、〇九七	一、五六四、三二三
アル形鐵類	同	—	五九二、五三三	五七〇、一三七	一六七、七三三	六八七、八四九	一五六、六〇二
鐵板(電鍍浪形)	同	二、八九九、八〇〇	五三	八八五、四七四	二一九、七六三	六四一、七二六	一四九、五六三
同(同其他)	同	—	—	—	—	—	—
同(葉鐵及葉鋼)	同	三、三四五、五〇〇	七七一、〇三五	二、五〇二、六九〇	九四九、六五二	二、八五七、一三八	八四五、〇二三
同(其他)	同	七、〇八五、〇〇〇	九二、八八一	一七、二五八、九〇八	二、八六五、二七九	九、四九二、二七二	一、八〇六、一七六
鐵線	同	一、九九三、六〇〇	三〇六、四二二	三、四〇六、九五九	七六六、五九九	三、三六五、一五二	七五二、六七八
筒及鐵管	同	一、八六七、九〇〇	五三八、二二八	二、四九一、八八九	六〇〇、五七三	三、三三一、二二	八七四、四二七

大阪港外國貿易輸出入別

銅(塊及錠)	同	三、五八三、七〇〇	一、四七一、七八〇	四、四一九、六九一	二、五四二、五〇六	四、三九、七三〇	二、三三二、一五五
真鍮及青銅	斤	一、五〇、四〇〇	二八七、一四〇	七八、二二二	一七、〇〇八	六五四、〇五四	一七〇、六五二
(塊及錠)	同	二、三三八、五〇〇	三五二、〇七五	九六、八七八	二二、五五二	四四、三四八	七〇、〇一四
亞鉛(塊錠及粒)	同	二、四九五、七〇〇	一四二、一四九	—	六六二、九六四	一五、四五三、六七六	一、一九五、二〇三
層及古金(屬鐵)	同	—	—	—	—	—	—
同 (亞鉛)	同	—	—	八四九	一〇五	三、六七一	五二五
同(真鍮及青銅)	同	—	—	—	—	—	—
同 (其他)	同	—	—	一二三、八七三	四六、四九六	二九一、二七三	八八、〇四一
製帽用真田	同	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	同	一、二二六、五八	三五九、五二四	五九三、九二一	三二五、九〇〇	七二七、五七五	三〇五、六四八
(全製數)	—	—	四、九四一、三四五	—	六、〇三三、五〇四	—	一〇、四八八、五五四
石 油 瓦	—	—	—	—	—	—	—
毛 皮	—	—	—	—	—	—	—
(鹽酸及硫酸)	—	—	—	—	—	—	—
モルヘネ オンス	—	—	—	—	—	—	—
ダイナマイト	斤	三〇〇、九三三	二四三、七〇九	五三一、八〇九	二四六、〇〇四	四二七、三五五	二八七、八五八
キニーネ オンス	—	—	—	—	—	—	—
綿天竺絨及方碼	—	—	—	—	—	—	—
綿アラツシユ類	—	—	—	—	—	—	—
綿イタリアンス	同	二〇三、二二二	一六八、二七一	四三三、八九九	二二七、六七三	六四八、五九五	三三九、六七一
及綿織子	同	三〇四、二五八	九三〇、七二〇	一一七、二二八	四六一、九七三	六八、四六四	二二六、九九九
セルチス(毛)	同	二二八、七七八	四一七、九七四	六四六、六八四	一、五八二、六五六	六四、五一四	一三四、二七五
セルチス(毛綿)	同	—	—	—	—	—	—
毛鷲天絨及類	同	三九、一八〇	一八二、四五五	三四、九七二	一九六、八四八	一〇、八三五	六五、三三六
アラツシユ類	斤	八三、四四五	一七一、一四四	七五、九二四	四八、五八〇	一七七、九七三	一一〇、二八五
油布及リノリ	同	七三六、二〇〇	二五三、八四二	七〇七、七〇九	二九六、九五四	二、二六六、六一〇	七五四、七七〇
印刷料紙	同	八〇六、三〇〇	二四一、四八四	八四、三二二	三〇〇、四一四	一、七九二、七三一	六五〇、五五二
包裝用紙	同	二二、九〇〇	七五、七八二	三三二、五三九	一六九、三一一	一六四、二〇七	七八、一七六
撲造日本紙及	同	二四〇、七五四	一一九、〇二七	一七〇、五二二	一一〇、六〇二	一一三、四六四	三六、七七二
チツシユペーパー	同	—	—	—	—	—	—
唐 紙	同	—	—	—	—	—	—
寫真用紙	—	—	—	—	—	—	—
陶 磁 器	—	—	—	—	—	—	—
硝 子 板	—	—	—	—	—	—	—
寫真用乾板	斤	二二四、六二二	二二七、五五六	一五二、〇九一	一七一、二九三	五六、〇七七	七〇、八九七
(現象セザル)	—	—	—	—	—	—	—

大阪港外國貿易輸出入別

綿天竺絨及方碼	—	—	—	—	—	—	—
綿アラツシユ類	—	—	—	—	—	—	—
綿イタリアンス	同	二〇三、二二二	一六八、二七一	四三三、八九九	二二七、六七三	六四八、五九五	三三九、六七一
及綿織子	同	三〇四、二五八	九三〇、七二〇	一一七、二二八	四六一、九七三	六八、四六四	二二六、九九九
セルチス(毛)	同	二二八、七七八	四一七、九七四	六四六、六八四	一、五八二、六五六	六四、五一四	一三四、二七五
セルチス(毛綿)	同	—	—	—	—	—	—
毛鷲天絨及類	同	三九、一八〇	一八二、四五五	三四、九七二	一九六、八四八	一〇、八三五	六五、三三六
アラツシユ類	斤	八三、四四五	一七一、一四四	七五、九二四	四八、五八〇	一七七、九七三	一一〇、二八五
油布及リノリ	同	七三六、二〇〇	二五三、八四二	七〇七、七〇九	二九六、九五四	二、二六六、六一〇	七五四、七七〇
印刷料紙	同	八〇六、三〇〇	二四一、四八四	八四、三二二	三〇〇、四一四	一、七九二、七三一	六五〇、五五二
包裝用紙	同	二二、九〇〇	七五、七八二	三三二、五三九	一六九、三一一	一六四、二〇七	七八、一七六
撲造日本紙及	同	二四〇、七五四	一一九、〇二七	一七〇、五二二	一一〇、六〇二	一一三、四六四	三六、七七二
チツシユペーパー	同	—	—	—	—	—	—
唐 紙	同	—	—	—	—	—	—
寫真用紙	—	—	—	—	—	—	—
陶 磁 器	—	—	—	—	—	—	—
硝 子 板	—	—	—	—	—	—	—
寫真用乾板	斤	二二四、六二二	二二七、五五六	一五二、〇九一	一七一、二九三	五六、〇七七	七〇、八九七
(現象セザル)	—	—	—	—	—	—	—

大阪港の貿易に籍りて

大阪港の貿易に籍りて

帝國の貿易港は、輸出港としては横濱、大阪、神戸、門司、名古屋、清水、長崎、小樽の順位になり、又、輸入港としては、神戸、横濱、大阪、門司、四日市、名古屋市、若松、長崎、武豊、清水の順位になつてゐる。之を要するに大阪は輸出高輸入高の二倍半を有し、あきらかに輸出港としての權威にゐる。然れども神戸が其輸入高輸出高の三倍強を有する輸入港たることは、大阪の貿易と唇齒の關係にあつて別箇に見るべきものではない。出息と入息との個々の機能であつて二港の調和的決算は到底、輸入港としての趨勢に居り、聽ては帝國貿易の輸出入趨勢と一致するものであると云はねばならぬ。換言すれば神戸は消費的であつて大阪は生産的である。而も其の消費が生産に超ふることは帝國の趨勢と同一であつて、國勢の大觀よりすれば悲むべき消費義の輸入國の位置にある。私かに思ふに國運の將來は、輸出貿易政策の確立と殖民政策の二にあるから、政府の政策と相俟つて國家の健全性を作らなければならぬ。社會主義の如きは、國家主義の確立を前件としてのコンセンサスとして行はるべき國家社會主義を以てこそ、始めて民福に協

ふものであつて、現實性を帯ぶることに我等の希望は結ばれてゐる。人々はモリアのユートピヤを妄想することより逃れよ。彼土國や天國が設せられぬ如く、妄想社會主義者の社會は永遠に證せらるゝものではない。社會の意義は吾人日常の寒暄の挨拶に存在して、夫處に愛の交歡が行はれたるも甲乙は依然箇人である。此の箇人は否定し得ない事實ではないか。幸福が主觀的のものであることも愛も又主觀的のものである。誰れかあつて不快を感じつゝ慈善をなすものがあるであらうか。若しあるとしたらそれは不快を醸した威脅の結果であつて眞の慈善は云ひ得ぬであらう。してみるに幸福や、愛や、慈善も主觀の產物である以上、箇人的であるから箇人の擁護から生れなければならぬ。實に箇人の成長確立は道徳の根蒂である。——かの如く社會を認めつゝ箇人を肯定するところに人類の踐むべき軌條があるなら、箇人あつての社會であるから従つて箇人あつての國家であらねばならぬ。それなら國家と社會とは何れが大きなマースであるか云ふなら、社會は整数であつて、國家は分母であり、箇人は分子である。整数は完全數である。完全數を得るためには分子の精選に初まり分母のアツジャストメントにある。人類の歴史が業に國家を創成したのは、自らの要求に發してゐる。史實は文化への辿りである。吾等は

大阪港の貿易に籍りて

大阪港の貿易に籍りて

史實を顧りみて、又、國家を否定して如何なる幸福あるかを信じ難い。それは分母を拒斥して整數——完全數——を得ようとする無理と無暴であつて、人類の數學には未だ以て斯の如き數理を見出さぬ。分母を拒斥することは要するに何つ迄も小數點以下の幸福に彷彿ものごしか思へぬ。私の嫌惡するものは酒は飲むが、雲丹ごしほから、佛教徒の譬喩（巧妙なる譬喩は巧妙なるだけ多くの誤謬を伴ふ）ごギリシヤ、ソフィストの詭辯ご水平社の運動（彼等は愛の融合を無視してゐる）ご、無智なる國粹社ご妄想社會主義者の徒である。人々よ！社會主義を絶叫する前に國家社會主義の礎石を据えよ。妄想妄見の運動より轉じて産業の改革に力を悉せ。日章旗の下に社會主義を宣傳せよ。殖民政策ご貿易興隆の勝利は聽て社會主義者のみならず人類の近き捷利にあらずして何であらう。希ば、ポスター日章旗に榮光あれ。

港名	輸出	輸入	計	輸出順位	輸入順位	總貿易順位
横濱	八九五、四六三	六五二、一五四	一、五四七、六一七	一	二	一
神戸	二七九、八二二	八五六、三五六	一一三六、一七七	三	一	二
大阪	三三三、七七一	二二八、七九四	四五一、五六八	二	三	三
長崎	一四、六七七	二二、一六六	三五、七三三	七	七	八
門司	二四、九一九	九四、四四六	一一九、三六五	四	四	四
函館	五、七三四	三、二七五	九、〇〇九	二二	一四	二二
新潟	四八	二、一八八	二、六六八	一九	一六	一九
清水	一六、五四〇	一三、七九九	三〇、三三九	六	九	九
武豊	五	一六、一五七	一六、一六二	三三	八	一一
名古屋	三三、九七七	三、〇七四	六四、〇〇一	五	六	五
四日市	四、〇一六	三二、八一	三六、八二七	一四	五	六

主要貿易港比較統計

主要貿易港比較統計

(單位、千圓)

——大正十一年——

富の計上に就て

酌して左の二十四項に就て計上してゐるのであるが

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| (一) 土 地 | (二) 鑛 山 | (三) 海湖川及港灣 |
| (四) 樹 木 | (五) 建 物 | (六) 家具及家財 |
| (七) 製造工業機械 | (八) 家畜及家禽 | (九) 鐵道及軌道 |
| (十) 諸 車 | (十一) 船 舶 | (十二) 水 道 |
| (十三) 橋 梁 | (十四) 農 產 物 | (十五) 林 產 物 |
| (十六) 工 產 物 | (十七) 鑛 產 物 | (十八) 水 產 物 |
| (十九) 輸 入 品 | (二十) 金銀貨幣及地金 | (廿一) 各省財產 |
| (廿二) 皇室財產 | (廿三) 其 他 | (廿四) 對外債權債務 |

これにしても随分疑義を伴ふ怪しい項目がある。箇人又は或る財團の價格を附することは別に難儀ではないが國家と個人なごみは同一になり得ない立場がある。従つて府の富なるものも矢張り計上することは難事であつて、富の定義からかゝらなければ眞實に觸れ得ないと思ふ。恚うして今設し方法を與ふるなら私の考察は物的のものご人的のものごを個々に分けずして獨立のもの

とせず、人的主觀の場合には恚う、物的客觀の場合には斯く二種の方法を以て計上されなければならぬ。勿論此二種の方法は最後のサム、トータルが一致しないことであるが、之は一致したからといつて、合理的のものでもなければ、一致しないからといつても何らの矛盾も伴はないものである。國家又は府縣なごみ云ふ立場は之れが市場品でもなければ、又賣買を豫想し得るものでもないから——。只、斯の如く殷富を有してゐるごいふ證明であればよい。曩に北樺太割讓問題が提起されて、其評價は實際的にあるべく近づけられたが、かゝる場合に於ては誤りのない計上は生産物を標準として(需要地迄の運賃關係を含む)第一價格を附し不可計的な軍事關係から來る第二價格を添加し、露國新政府に現在する利益ごの中間値にあるであらう。然して放棄者讓渡者の値段は其理由からして、買受者希望者の評價より下にあるごは勿論であらねばならぬ。今我大阪府の富を項目的に列擧するなら

- (甲) 收稅額より見たる場合(府財政ごの關係を含む)
 - (乙) 物的客觀的より見たるもの
 - (丙) 不可計的地文的價格
- 富の計上に就て

富の計上に就て

の三であつて(乙)の項目を分類して、

土地、企業資本、各種生産品、水産的領海評價、

の四項目位に止めて措いたら何らの誤謬を伴はずしてすむであらう。

態々、本書の内容豫告に富の大、論項は掲げたものゝ、其實際は絶対的であり得ないことも何だか不可計的に思惟される。要するに府の富は比較的に證明され、又、證明のものであればよいことも此意味に於て、人口及戸数は傍證的材料として必要なる項目である。

然して別に統計項目があるから此稿に於ては只其論にきりめ、すべての數字を省略するものである。

趣味の史料

(1) 古戦場

正平三年の古戦場 東成郡墨江村

楠正行、賊將山名時氏、細川顯氏を敗りし處、

大物崩の古戦場 西成郡歌島村野里

兩細川氏等の合戦地

山崎古戦場 三島郡島本村山崎

白井川の古戦場 同郡春日村上野

栗栖古戦場 豊能郡西郷村栗栖

元暦元年の古戦場 同郡根根莊村神山

元和元年五月、東西兩軍の古戦場

南河内郡玉手村片山

趣味の史料

正平三年の古戦場 南河内郡藤井寺村藤井寺

元中五年楠正勝の古戦場 同郡平尾村平尾

落合川の古戦場 中河内郡堅下村太平寺

島山、三好の古戦場 同郡南高安村教興寺

四條畷之合戦に於ける初戦の地 同郡枚岡南村四條

正覺寺古戦場 同郡加美村正覺寺

四條畷の古戦場 北河内郡四條村北條

久米田の古戦場 泉南郡八木村池尻

樫井川古戦場 同郡南中通村樫井

趣味の史料

(口) 古城址

- 大阪城址(往時ノ石山本願寺) 大阪市東區
- 天王寺城址 同南區六万體町
- 穰多崎砦 同西區幸町附近
- 吾孫子城址 東成郡依羅村吾孫子
- 喜連城址 同郡喜連村
- 榎並城址 同郡榎並町
- 江口城址 西成郡中島村江口
- 中川瀨兵衛の出城 同郡新庄村下新庄
- 三好長慶の城址 同郡鷺洲町浦江
- 柴島城址 同郡西中島村柴島
- 三津屋城址 同郡神津村三津屋光專寺城址
- 大和田城址(本願寺光佐ノ出城) 同郡千船村大和田
- 木津砦の址 西成郡今宮町木津
- (石山本願寺、織田氏トノ際ニ於ケル本願寺方ノ砦)
- 高槻堡の址 三島郡高槻町
- (和田伊賀守惟政ノ堡)
- 岡本城址 同郡阿武野村氷室
- 芥川城址 同郡芥川村芥川
- 高槻城址 同郡高槻町
- 高山城址 同郡清溪村高山
- 安威城址 同郡安威村安威
- 太田城址 同郡三島村太田
- 茨木城址 同郡茨木町
- 三宅城址 同郡三宅村太中
- 山田城址 三島郡山田村山田中
- 山田兵庫守城址 同郡千里村佐井寺
- 吹田城址 同郡吹田町
- 池田城址 豐能郡池田町
- 八幡城址 同郡細河村伏尾
- 止々呂美城址 同郡止々呂美村上止々呂美
- 鹽山城址 同郡同村下止々呂美
- 西市場城址 同郡北豊島村西市場

趣味の史料

- 麻田城址 同郡麻田村麻田
- 原田城址 同郡南豊島村原田
- 福井城址 同郡中豊島村福井
- 吉川豊前守城址 同郡吉川村
- 藤原仲光ノ城址 同郡同村
- 余野城址 豐能郡東能勢村余野
- 鳥坂城址 同郡同村野間口
- 地黄城址 同郡東郷村地黄
- 野間城址 同郡同村野間中
- 宿野城址 同郡西郷村宿野
- 七星城址 同郡同村同
- 平通城址 同郡同村平通
- 片山城址 同郡同村片山
- 吉村城址 同郡同村栗栖
- 栗栖城址 同郡同村同
- 山邊城址 同郡根根莊村山邊
- 長谷城址 同郡同村長谷
- 山田城址 同郡同村山田
- 今西城址 豐能郡根根莊村今西
- 森上城址 同郡同村森上
- 義經陳屋ノ址 同郡同村上杉
- 上杉城址 同郡同村同
- 毛人谷城址 南河内郡富田林町
- 北山城址 同郡喜志村
- 喜志城址 同郡同村
- 箕山塞址 同郡大伴村南大伴
- 中山口塞址 同郡同村板持
- 大ヶ塚城址 同郡石川村大ヶ塚
- 山城城址 同郡同村山城
- 二上山塞ノ址 同郡山田村山田
- 平石城址 同郡白木村平石
- 弘川壘址 同郡河内村弘川
- 陳屋山城址 同郡同村同
- 持尾城址 同郡同村持尾
- 下河内城址 同郡同村下河内
- 上河内城址 同郡同村上河内

趣味の史料

神宮寺	赤土山	水越塚	高塚	中臺	上臺	舞子平	塞址	二河原城址	淨心寺塞址	川野邊城址	下赤坂城址	上赤坂城址	櫛形塞址	土井塞址	高塚塞址	千早城址	烽火臺址	妙見塞址	細尾塞址	
同郡赤阪村水分								同郡同村二河原邊	同郡同村赤阪村二河原邊	同郡同村川野邊	同郡同村森屋	同郡同村桐山	同郡同村桐山	同郡同村桐山						

國見塞址	屑塞址	北山	富山	丸山	茶白山	夫山	本宮	若中	上猫路	下猫路	高塚山塞址	八國塞址	佐備谷口城址	龍泉寺城址	陳山城址	金胎寺山城址	津々山城址	石川向城址	
											同郡同村吉牟	同郡同村中津原	同郡東條村佐備	同郡同村龍泉	同郡東條村龍泉	同郡同村甘南備	同郡同村西村甘山	同郡同村甲田	同郡千早村東坂

趣味の史料

旗尾塞址	紀見峠塞址	左近城址	河合寺城址	稻荷山城址	大澤塞址	笹尾塞址	鳥帽子形城址	石佛城址	小瀨城址	猿子城址	高尾城址	譽田城址	小山城址	島城址	平尾城址	德專寺城址	河原城址	大保壘址	
同郡同村天見	同郡同村清水	同郡川上村河合寺	同郡高向村日野	同郡川上村石見川	同郡三日市村喜多	同郡加賀田村石佛	同郡高向村瀧畑	同郡古市町	同郡藤井寺村津堂	同郡埴生村向野	同郡平尾村平尾	同郡丹比村多治井	同郡同村河原城	同郡丹南大保					

野田城址	中田城址	別莊城址	一津屋城址	神宮寺小太郎ノ城址	恩知城址	高安城址	水走城址	福萬寺城址	八尾城址	若江城址	久寶寺城址	古橋城址	徳川家康陳址	士井城址	津田城址	交野城址	三箇城址	飯盛城址
同郡野田村南野田	同郡狹山村半田	中河内郡惠我村別所	同郡惠我村一津屋	同郡南高安村神宮寺	同郡同村恩知	同郡同村教興寺	同郡英田村水走	同郡三郷村福萬寺	同郡八尾町八尾座	同郡若江村若江南	同郡久寶寺村久寶寺	同郡久寶寺村久寶寺	同郡星田村	同郡川越村茄子作	同郡津田村津田	同郡野村私部	同郡住道村三箇	同郡四條村北條

趣味の史料

- 徳川秀忠陳址 同郡甲可村岡山
- (高橋家の宅址)
- 家原寺城址 泉北郡八田莊村家原寺
- 和田城址 同郡久世村和田
- 小谷城址 同郡上神谷村豊田
- 東山城址
- 西山城址
- 千原城址 同郡上條村千原
- 二田城址 同郡同村二田
- 曾根城址 同郡同村北曾根
- 大津城址 同郡大津町下條大津
- 國府城址 同郡國府村府中
- 坂本城址 同郡那莊村坂本
- 觀音寺城址 同郡同村觀音寺
- 切坂城址 同郡横山村下宮
- 箕形城址 同郡北松尾村箕形
- 井關城址 同郡山瀧村内畑
- 岸和田城址 同郡和田市岸城町
- 榎屋城址 泉南郡土生郷村流木

- 落合城址 泉南郡東葛城村河合
- 蛇谷城址 同郡西葛城村木積
- 金福寺城ノ址 同郡同村稚谷
- 高城址 同郡木島村三松
- 高井城址 同郡同村清兒
- 貝塚城址 同郡貝塚町
- 島中城址 同郡北近義村島中
- 千石堀城址 同郡南近義村橋本
- 積善寺城址 同郡同村澤
- 澤城址 同郡佐野町
- 佐野城址 同郡熊取村小谷
- 興藏寺城址 同郡日根野村日根野
- 日根城址
- 榎井城址 同郡南中通村榎井
- 榎井城址
- 本山城址
- 土丸城址 同郡大土村土丸
- 淡ノ輪城址 同郡淡輪村
- 深日城址 同郡深日村
- 高濱砲臺ノ址 三島郡島本村高濱

(ハ) 宅址

- 古林見宜翁宅址 大阪市東區粉川町(舊名聚樂町)
- 天野利兵衛宅址 同區淡路町角屋敷
- 曾呂利新左衛門宅址 同區安土町中橋筋
- (又ハ備後町中橋筋トノ説アリ)
- 泊園書院ノ址 同區瓦町二丁目
- 廣瀬旭莊宅址 同區淡路町五丁目
- 舊徳徳堂 同區今橋三丁目
- 篠崎小竹宅址 同區今橋五丁目
- 緒方洪庵宅址 同區北濱三丁目(舊通書町)
- 細川越中守宅址 同區越中町
- 阿波十郎兵衛舊樓地 同區岡山町
- 鴻臚館址 同區中道唐居町
- 物部守屋難波邸址 同區森ノ宮東ノ町?
- 安井道頓宅址 南區長堀松筋二丁目
- 頼春水家居地 西區江戸堀南通一丁目
- 西行庵ノ址 東成郡墨江村遠里小野

趣味の史料

- 一休禪師床菜庵ノ址 同郡同村上住吉
- 末吉孫左衛門屋敷址 同郡平野郷町平野市
- 來國次舊樓地 同郡西中島村淡路
- 山崎宗鑑宅址 三島郡島本村山崎
- 藤井竹外宅址 同郡高槻町
- 松永久秀宅址 同郡如是村東五百住
- 兼好法師假居址 豊能郡池田町
- 菅原峰嗣宅址 同郡北豊島村中ノ島
- 北河原與吉兵衛宅址 同郡小曾根村石蓮寺
- 稻地伊賀守宅址 同郡根根莊村稻地
- 春日佛師ノ宅 南河内郡磯長村春日
- 楠氏ノ宅址 同郡赤阪村桐山
- 南姥庵(楠公夫人)址 同郡東條村甘南備
- 大江時親ノ宅址 同郡加賀田村加賀田
- 和田氏ノ宅址 同郡南八下村大饗

趣味の史料

源頼信
源頼義 古棲地 南河内郡駒ヶ谷村壺井
源義家 中河内郡松原村阿保
阿保親王ノ邸址 同郡中高安村山畑
俊徳丸屋敷 同郡久寶寺村久寶寺
安田春益家居ノ地 北河内郡山田村中宮
百濟王の宅址 同郡樟葉村楠葉
藤原繼繩別業ノ址 同郡豊野村秦
秦行綱の宅址

(二) 宮 址

高津宮址 不明
〔今ノ高津神社ノ地域ヲ以テ高津ノ宮址トナスハ一般史家ノ賛セザルトコロナリ〕
〔後村上帝〕住吉行宮ノ址 東成郡墨江村千休
〔應神帝〕大隅宮址 西成郡大道村西大道
〔孝徳帝〕豊崎宮址 同郡豊崎町本庄
〔孝徳帝〕山崎宮址 三島郡島本村山崎

四ルイス(九郎兵衛宗真)宅址 堺市大黒町
曾呂利新左衛門舊居地
堺市〔市之町東三町字目口町〕
〔字北上ノ町三十二番屋敷〕
呂宋助左衛門ノ故宅 (宅址ハ不明)
堺市大安寺ノ方丈
千利休宅址 同市宿院町西一丁目今市町
契冲阿闍梨草庵ノ址 泉北郡南松尾村久井
多賀井主水屋敷 泉南郡淡輪村

〔嵯峨帝〕河陽宮址 右同所
〔後鳥羽院〕水無瀬離宮址 同郡同村廣瀬
〔後村上帝〕天野山行宮址 南河内郡天野村天野山
〔後村上帝〕觀心寺行宮址 同郡川上村寺元
〔聖徳帝〕丹比行宮址 同郡南八下村小寺
〔履仲帝〕近飛鳥宮址 南河内郡駒ヶ谷村飛鳥
〔反正帝〕丹比柴離宮址 中河内郡松原村上田

趣味の史料

〔稱徳帝〕弓削行宮址 同郡曙川村東弓削
〔稱徳帝〕由義宮址 同村八尾木
〔繼體帝〕楠葉宮址 北河内郡樟葉村楠葉
〔元正帝〕聖武帝の珍努宮址 泉北郡國府村府中

(木) 御 陵 墓

讚野皇山御陵 東成郡喜連村
〔允恭帝ノ皇后、忍坂大中女姫命ノ御陵ト傳フ〕
光明院(後伏見帝ノ皇子)ノ御陵 三島郡豊川村粟生
開成皇子(光仁帝ノ皇子)ノ御陵同村同所勝尾寺山
〔繼體帝〕蓋野御陵 同郡三島村太田
傳〔光明皇后〕ノ御陵 豊能郡止々呂美村
下止々呂美
〔用明帝〕御陵 南河内郡磯長村春日
〔敏達帝〕御陵 同郡同村太子
〔石姫皇后〕〔敏達帝御母〕ノ御陵 同所

〔雄略帝〕日根行宮址 泉南郡日根野村日根野
〔允恭帝〕茅渚宮址(衣通姫ノ居所) 同郡上之郷村

厩 月 皇 子
御母、穴穗部間人皇后ノ御陵 南河内郡磯長村太子
妃、膳 手 皇 女
〔推古帝〕御 陵 同郡山田村山田
〔竹田皇子〕ノ御陵 同所
〔孝徳帝〕御陵 同所
〔傳〕大津皇子ノ御陵 同所(二上山墓)
〔後村上帝〕御陵 同郡川上村寺元
〔安 閑 帝〕ノ御陵 同郡古市町
皇妹、神前皇女
〔春日山皇女〕〔安閑帝〕御陵 安閑帝御陵南

趣味の史料

「應神帝」御陵 南河内郡古市町譽田
 「日本武尊」御陵 同郡同町輕墓
 (傳)「木梨輕皇子」御陵(允恭帝ノ皇子) 同所
 「清寧帝」御陵 同郡西浦村西浦
 「允恭帝」御陵 同郡道明寺村國府
 「仲媛命」(允恭帝皇后)御陵 同村澤田
 「仲哀帝」御陵 同郡藤井寺村岡

墳墓

「仁賢帝」御陵 同村野中
 「雄略帝」御陵 同郡高鷲村南島泉
 來目皇子(用明帝皇子)御陵 同郡壇生村壇生野
 「反正帝」御陵 堺市向井中筋
 「仁德帝」御陵 泉北郡軸松村
 「履仲帝」御陵 同郡神石村

大阪市

兼度堂墓 東區小橋寺町
 飯岡瀟寧墓 同區八丁目中寺町龍淵寺内
 片山北海ノ墓 右向所梅松禪院内
 入江長輔ノ墓 同區上本町四丁目寶相寺内
 阪本葵園ノ墓
 五井蘭州ノ墓
 梶久ノ墓

中井發庵ノ墓 右同所誓願寺内
 中井竹山ノ墓
 中井履軒ノ墓
 並河樺翁ノ墓
 井原西鶴ノ墓
 僧契沖ノ墓 東區眞差町圓珠庵内
 梅川、忠兵衛墓 同區高津北之町 傳光寺内
 紀海音墓 同區上本町六丁目寶樹寺内

趣味の史料

藤澤市懷墓 同區生玉町顯延寺内
 遊女夕霧ノ墓 同區下寺町一丁目淨國寺内
 中島貫齋ノ墓
 古林見宜ノ墓
 小島形山ノ墓 同區西高津中寺町 禪林寺内
 僧物外ノ墓
 近松集林子墓 右同所妙法寺内
 (埋骨地)兵庫縣川邊郡小田村廣濟寺)
 木津勘助墓 南區木津勘助町一丁目
 小西來山墓 同區惠比須町三丁目海泉寺内
 (水戸浪士)高橋多一郎父子ノ墓
 同區四天王寺々城
 蜂須賀正勝(小六利政)ノ墓 同區天王寺六万體町共同墓地
 (元、國恩寺境内)
 藤原家隆墓 同區夕陽丘町
 陸奥宗光ノ墓 右同所
 伊達千尋ノ墓
 小松帶刀ノ墓

田能村竹田墓 右同所淨春寺内
 竹本義太夫墓 同區天王寺大道一丁目超願寺内
 永富獨嘯庵墓 同區天王寺上之宮町藏鷲庵内
 廣瀬旭莊ノ墓
 藤井藍田ノ墓 南區茶臼山町邦福寺内
 村田春門ノ墓
 村田嘉言ノ墓
 飯田玉吟ノ墓
 河竹能進ノ墓
 比翼塚(紙屋治兵衛、小春ノ墓) 北區東野田町九丁目大長寺内
 大塩平八郎墓 同區東寺町成正寺内
 篠崎三島ノ墓
 同 小竹ノ墓
 同 竹陰ノ墓
 後藤松陰ノ墓 同區東寺町天德寺内
 同 箕山ノ墓
 同 桐坪ノ墓
 今泉芝軒ノ墓

趣味の史料

森狙仙ノ墓 北區西寺町一丁目西福寺内
 同 周峯ノ墓 同所
 西山宗因ノ墓 同區西寺町二丁目圓通院内
 奥野小山ノ墓 同所
 菅沼東廓ノ墓 同區太融寺町太融寺内
 淀君ノ墓 同區上福島一丁目淨祐寺内
 矢頭長助ノ墓 同區上福島一丁目淨祐寺内

東成郡
 安藤正次ノ墓 平野郷町願正寺内
 坂上廣野墓(田村慶ノ男) 同町平野市
 菅沼甘谷墓 生野村舍利尊勝寺内
 大小橋命ノ墳墓(鎌足公十世ノ遠祖) 鶴橋町岡

西成郡
 龍田善達ノ墓 西成郡豊崎町南濱(濱ノ墓々城)
 山本文龍ノ墓 同所
 佐々木専林ノ墓 同所
 富島瑞峯ノ墓 同所
 齋藤鑾江ノ墓 同所

萩原廣道ノ墓 鶯洲町浦江妙壽寺内
 曉鐘成ノ墓 同所勝樂寺内
 足利義教ノ墓 西中島村崇禪寺内

三島郡
 松宵小侍從ノ墓 島本村櫻井
 能因法師墓 磐手村古曾部
 三好筑前守義興墓 清水村眞上
 木村常陸介墓 石河村大門寺
 將軍塚(藤原鎌足公最初ノ墓) 安威村安威
 藤原山隆墓 三島村總持寺
 和田伊賀守惟政墓 春日村五日市
 三宅出羽守國政墓 三宅村太中

豊能郡
 荒木攝津守墓 池田町
 池田筑後守充正墓 同町
 山川正宣ノ墓 同町
 和泉式部ノ塔 細河村古江

安倍晴明墓 秦野村畑
 萱野三平墓 萱野村芝
 紹偵(一休和尚ノ子) 豊中村櫻塚
 落月庵西吟ノ墓 同所
 藤井三淳墓 小曾根村寺内
 北河原與茂作墓 同村石蓮寺
 貝川三位長乘墓 東能勢村切畑
 名月姫ノ墓 西郷村柏原
 鬼王・團二郎兄弟ノ塔 同所
 源滿政ノ墓 根根莊村神山

南河内郡
 蘇我馬子墓 磯長村太子
 蘇我倉山田石川麿ノ墓 山田村山田
 小野妹子ノ墓 同所
 円行法師ノ墓 河内村弘川
 源良總墓 千早村千早
 楠正儀ノ墓 同所
 楠正成首塚 川上村寺元

畠山政國ノ墓 同所
 同照高ノ墓 同所
 甲斐庄氏ノ墓 同所
 薄田兼相ノ墓 古市町譽田
 清少納言ノ墓 同所
 藤原永手ノ墓 駒ヶ谷村駒ヶ谷
 楠正成ノ塔 同所
 源頼義ノ墓 同所
 同 頼信ノ墓 同村通法寺
 同 義家ノ墓 同所
 田邊伯孫ノ墓 國分村
 尾州侯ノ廟所 玉手村玉手
 奥田三郎右衛門忠一ノ墓 同村片山

中河内郡
 木村長門守重成墓 西郡村
 山口重信墓 若江村若江南
 僧行基ノ塚 矢田村枯木
 松永久秀ノ母ノ墓 堅上村雁多尾畑

趣味の史料

趣味の史料

神宮寺小太郎墓 南高安村神宮寺
 恩知滿一墓 同村恩知
 四條噺戰死者埋骨ノ所 枚阿南村四條
 八尾別當顯幸ノ墓
 藤堂仁右衛門ノ墓
 同 新七郎ノ墓
 同 玄蕃ノ墓 八尾町西郷
 同 勘解由ノ墓
 桑名彌次兵衛ノ墓
 山岡兵部ノ墓
 飯島三郎右衛門尉墓 玉川村岩田
 物部守屋ノ墓 龍華村太子堂
 島山政長ノ墓 加美村正覺寺
 北河内郡
 島山義豊ノ墓 友呂岐村郡
 「博士」王仁墓 菅原村藤坂
 「仁明天皇外祖母」贈正一位田口氏ノ墓 山田村田口

久貝因幡守政俊墓 同村中宮
 和田源秀墓 甲可村南野
 秦川勝墓 豊野村秦
 野見宿禰墓 同村太菜
 堺市
 三好元長ノ墓 顯本寺内
 泉北郡
 源顯家ノ墓 濱寺町
 和泉式部ノ墓 八田莊村平岡
 和田新發智墓 久世村和田
 坂本臣鷹野墓 郷莊村坂本
 泉南郡
 橋諸兄墓 八木村池尻
 三好實休墓 同村額原
 橋本正高墓 貝塚町
 源行家墓 北信義村島中

(ト) 終焉之地

中瑞雲齋ノ墓 熊取村五門
 五十瓊敷入彦命墓 淡輪村
 色蕉翁終焉ノ地 大阪市東區南久太郎町四丁目
 大鹽平八郡父子終焉ノ地 同市西區靱(舊油掛町)
 孔舍衛坂 中河内郡孔舍衛村日下
 (五瀬命負傷ノトコロ)

橋逸勢ノ墓 孝子村
 妙沖墓 同村

木村長門守戰死ノ處 中河内郡若江村
 土州藩士切腹ノ處 堺市妙國寺庭

(キ) 生誕地

福澤諭吉誕生地 大阪市北區常安橋
 阿部晴明誕生地 北詰(元中津藩藏屋敷)
 谷口蕪村誕生地 東成郡天王寺村阿部野
 小西行長誕生地 同部城北村毛馬
 堺市宿屋町

楠正成誕生地 南河内郡赤阪村水分
 弓削道鏡誕生地 中河内郡曙川村東弓削
 僧行基誕生地 泉北郡八田莊村家原寺

趣味の史

趣味の史料

(明) 佛閣

國分寺(攝津國分寺) 大阪市生野國分町
 石山本願寺(舊地) 大阪城内
 勝尾寺 三島郡豐川村粟生
 瀧安寺 豐能部箕面村公園内
 (日本四辨財天ノ一ヲ祀ル)
 叡福寺 南河内郡磯長村太子
 觀心寺 同郡川上寺元

國分尼寺(舊址) 南河内郡南八下村大饗
 國分寺(河内國分寺)址 同郡國分村
 妙國寺 堺市材木町東三丁
 久米田寺 泉南郡八木村池尻
 國分寺(和泉國分寺) 泉北郡南池田村國分

(又) 其他

國府ノ址 大阪市東區石町
 楠公父子袂別ノ所 三島郡島本村櫻井
 國府ノ址 南河内郡道明寺村國府

堺町奉行所址 堺市殿馬場
 「傳説」信太森 泉北郡信太村中
 國府ノ址 同郡國府村府中

社格	社名	祭神	所在地名
官幣大社	枚岡神社	天兒屋根命 比賣神 經津主神 武甕槌神	中河内郡枚岡村
同	大鳥神社	大鳥連祖神	泉北郡鳳町
同	住吉神社	底筒男命 中筒男命 表筒男命 息長足姬命	東成郡住吉村
同	生國魂神社	生國魂大神 足國魂大神	大阪市東區生玉町
官幣中社	水無瀬宮	後鳥羽天皇 土御門天皇 順德天皇	三島郡島本村
別格官幣社	阿部野神社	北島親房公 同顯家公	東成郡住吉村
同	四條囃神社	楠正行公 配祀正時以下殉難ノ將士	北河内甲可村
府社	豐國神社	豐臣秀吉公	大阪市北區中ノ島
同	高津宮	仁德天皇 仲哀天皇 應神天皇 神功皇后 葦姬皇后 履仲天皇	同 南區高津町
同	座摩神社	生井神 福井神 網長井神	同 南區南渡邊町
同	天滿宮	阿須波神 波比岐神	同 市北區大工町
趣味の史料	菅公 配祀姪兒命 手力鳴命 猿田彦命		

(ル) 神社と祭神

趣味の史料

同	難波神社	仁德天皇 素戔鳴命 宇賀御魂神	同市東區博勞町五
同	御靈神社	天照大御神 瀨織津比賣大神 應神天皇	同市東區淡路町五
同	開口神社	菟布良比賣神 大倉主神 配祀源正靈神	堺市甲斐町
府	泉穴師神社	鹽土老翁神 素戔鳴命 生國魂神 正哉吾勝々速日忍穗耳尊 栲幡千千姬命 配祀天富貴命 佐古麻槌人神	泉北郡穴師村
同	男 神社	彦五瀬命 神武天皇 熊野速玉神 天兒屋根命	泉南郡雄信達村
同	譽田神社	應神天皇 仲哀天皇 表筒男命 中筒男命	南河内郡古市町
同	建水分神社	底筒男命 神功皇后 八后神 天水分神 國水分神 天御中主命 罔象女命 瀨織津媛神	南河内郡赤阪村
同	恩智神社	大御食津彦神 大御食津媛神	中河内郡南高安村
郡	土師神社	菅原道真公 天穗日命 御姨菅原覺壽	南河内郡道明寺村

數字餘論

○人格と租税と國民格の三角關係に就て

人格といふことはいろいろに見方がある。如し法律學上から見たる權利義務の主體であらねばならぬだらうし、又、醫學上から見たら生理的欠陥があつても、解剖學的不完があつても人格は云ひ得ぬであらう。今日で云ふ人格の意義は、多く倫理道德の上から論定されてゐるようだが、私は懸案の普選問題に就て租税の負担から人格の何かを聯想せずにはゐられない。

大阪府民一戸當りの負担額は百二十八圓三十二錢二厘で、一人當りの負担は二十七圓三十二錢五厘になつてゐる。此負担額は國民格の標準としては、全國に於ける平均額から論じなければならぬが、大正八年の一戸當り負担は六十七圓〇三錢で、一世帯の人口は約五人平均であるから、前記の額を五人で除した十三圓四十錢六厘といふ商は國民一人當りの負担である。大正八年の大正十年とは、時の隔りがあるが、府民は國民としてより、より以上に納税を負担してゐる。敢て國民格といふ。それは名譽ある負担の完済の證明的事實である。生活の感謝であらねばならぬ。

文化生活の代價であらねばならぬ。征服者に對する降参者の意志表示であつてはならぬ。意義ある、自ら強ふるべき権利の遂行であらねばならぬ。與へられたるものは國民格であるから——。既に人格たる認識を許容するなら、又、國民格も可容すべき意義の下にあると思ふ。けれども人々は非常に遠慮する。十圓の領收書に貼付すべき三錢の收入印紙すらも遠慮する習癖がある。尤も出づるを制して入るを計るは商人の金科玉條には相違ないが、納税の遠慮は餘りに徹底しすぎた皮肉ではあるまいか。マーチャントでない私は減多に受取を書かせらるゝこともないが、原稿料を受取るべき三錢の印紙を貼るこゝにも非常な愉悅を感じる。矧んや、數十百圓の納税をなし得るならそれだけか快感を味ふこゝが出来るか知らぬが、プロに甘んずべき環境を必要とする私等に在つては悲しき事實の一つである。けれども人々には貧乏は罪惡なり、この直觀が必要だと思ふ。私は大阪府民が國民格としての納税より、より以上に負担に堪へつゝある文化生活に其餘祐を欣ぶものである。

○生ける屍より死せる屍に禮讀せよ

我府下には、宗教なる看板の下に二千七百二十二人の神官や僧侶や宣教師がゐる。而もそれに

衣食する弟子や随伴者や家族を合したら常に一萬以上の數になるであらう。五十八萬の戸數二百七十二萬四千人の府の台所に、それだけの寄生者があつても別に大した損でもあるまいが、社會は果して今の宗教家なるものに靈のインスパイラーとして期待してゐるであらうか。人々の惱に對しては靈を通じて肉を救ふこゝより、肉を通じて靈を救ふこゝが痛切されてゐる今日である。

“Man cannot live by bread alone”

それが眞理であるなら、生きんが爲の第一原理である性ミパンミが先づ恵まれなければならぬ。天上の星を眺めつゝ思索し歩行してドブの中に落ちこちたギリシアの哲學者たちならいざしらず、時間ミ空間ミを現實的に征服するに多忙の活社會では、棚の上のポタ餅さへ安心してはゐられない。況んや、未來だ、天國だ、淨土だ、彼土國だといったきて布教者自身にはデイバイン、アツシタンス、モネーにはなるか知らぬが、私等にあつては無謀な保險金ミしか思へない。恁んなこゝミ——未來の否定——は爺さんや婆さんには内證であるが、ミもあれ現實の宗教では死の恐怖を種に、恐脅する淺猿しい職業になつてしまつてゐる。勿論「死」なければ宗教なしであるけけこも——。

数字餘論

現代の宗教が何れもおしつまつてゐることは、只單に科學の擡頭許りには歸せられぬ。宗教家自身にも宗教のエッセンスを偽肯定のまま歩まうとする不正見、彼れらも又生ける動物の條件から道れ得ずして生活即ち職業の觀念のみならまだしも、動もする宗教の莊嚴を汚しつゝあることである。私等が生ける屍にインスパイラミして今のレリジオニストに期待せざるは勿論寧ろ宗教家なるものは死せる屍に禮讚する葬式の一道具であることが、これだけか完全性であることに於て、期待もし希望も繋ぐところのものである。

肯て云ふ。宗教は Poem である。釋迦 Buddha は主觀的抒情詩人の尤である。所謂、詩聖である。嘗て Buddha のみならず、吾も亦千佛の一なりと號呼した Hindi の屠牛者も然りである。Golgotha の YHWH の エリ、エリ、レヤ、サブクタニ——Eli, Eli, Lama sabachthani?——と叫びつゝ十字架につけられた Jesus Christ に至つては、もう主觀の偉大なる客觀化せられたものであつて、所詮は信仰の過程の全表である。

Poetical religion は又 Religious Poem であつて、換言すれば「詩佛一如」云ひ得るであらう。

神、佛たちの前に、香を焚き花を供ふることは何と化した詩の儀禮であらう。天の川が思はれたり、文月の七夕に牽牛織女の神を祀ることは詩として發表の形式の上乗なるものではあるまいか。詩は詩人のプロプリウスでなくして、世界は詩人に充ち、人類はすべてが詩人である。

憐うした詩宗教の題材は毎に人生であつて、生死の岸頭は、詩の高調さるべき唯一の環境である。此意味に於て殿堂は、神社は、寺院は、教會は詩の殿堂である。従つて宗教家は葬式の道具の一つであつてよろしく、又、詩人であり、俗人であらねばならぬ。これ以上に私等は今の宗教家に何ものも期待せぬ。却つて夫處に詩宗教の新らしき、而も美しき生命を見出し得ると思ふ。

詩の生命は美化である。誰やらの訓へた和歌の如に

乞食らが着すてし野邊のくち席

くち目より咲く花すみれかな

で、乞食もくち席をも其醜さでは歌の句として許されぬ題材である。けれどもそれを美化して花すみれと詠じたところに生命の躍進を見るこゝができる。

私等は醜より美に、惡より善に、偽より眞に、私の所謂、美化主義の歩調、それは私の宗教觀

數字餘論

である。もう、一つ力強いふなら、宗教は矢張り哲學でないから、依然宗教は宗教たる以上、哲學の歩調である「矛盾の一致」に依らずして、短刀直入的にブダもクリントも抹殺してしまつて、勿論、經、釋、疏にも楮表を焼いてしまつて、原始宗教的に創造的に新なものを建設すべきことである。生命の光は夫處に初めて灼熱のかぐよかを現するであらう。

希ば私等の神社や、寺院や、教會や、これらの聖職を以て任ずる人々が、プレエツドの爲でなくして、眞の讚美のために行持すべきことを痛告する。教役者がインスパイアミして立つこと以前に於て、彼等が先づ正しく神興を鼓吹されなければならぬ。マホメツトの口吻を籍るなら汝等、劍か貢か其一を取れ云つた如く、汝等も又、葬具が創造の一を撰め——。

○鋼具の肉蒲團を敷へて

府下十四の遊廓には千六百廿八の貸座敷業と八百七十八人の娼妓とが、不夜城の莊嚴を飾つて孫吳の兵法に餘念かない。此外第一遊撃軍としては藝妓が五千七十二人、第二遊撃軍としては酌婦が八百廿八人總計一萬四千七十八人當に二箇師團に匹敵する數が居る。あな恐るべき敵かな！此等娘子軍の數を以て今府下の男性人口百四十一萬八千五百五十人を除するに、男百に對して肉

數字餘論

蒲團一枚の勘定になる。而も此蒲團の借用者は十四遊廓のみに於て延人員三百八十九萬七千九百五十人、警察には勿論、家内にも届出の出来ない故意遺失金額二千八百八十九萬千八百四十七圓、其實個々のふところを精査したら五千萬圓以上に達するに違いない。癡娼論者の好材料である。諸癡娼論者に教ふる。問題は簡易である。先づ公娼史を研究すること、然らば公娼の已むなき事情が分明するであらう、要するに癡娼問題は制度や法律で一時は現實しても、然る後の結果を想到したら歴史を繰り返す許りにすぎぬだらう。神の國を出現する理想は公娼の存置を一日も許すことは出来ぬのだが、我等の努力は現實の可能性に對せずしては無駄に陥る。効果なき運動、それは無意義である。よりも吾人は非買同盟を創設することの切實なることを倡首する。憐れなる牢獄の娘たちに同情することにも其の解放的警察權の行使も必要なれば、肉の浪費者も道義的に悲しむべき群れである。歸するところは癡娼問題の整理は、法律、制度の問題でなくして箇々の人々が、各自の道義に懇へて自らの胸中に遊廓と公娼とを認めぬ拒否の仕方に成功することである。遊廓公娼はあつても無きが如しといふ底に到つてこそ、初めて吾れ人にも倡首する癡娼問題の歸趨であらねばならぬ。月影清きは其環境にあるなら、道義的拂拭の胸中には何ものをも汚

染を許さぬであらう。

○賢人は自己の自由なることを證明する爲に自殺す

こはストア派哲學者の號呼せしところであるが、自殺の原因は然うした哲學的氣分の示唆のみではない。否、多くの場合に於て、哀々たる人生のやる瀬なさに生より寧ろ死を擇んだものである。階級の威壓から來る生活苦、病魔の手に咀はれたる痛苦、戀に敗れたる人々の失望等、意志の歸結は、眞に同情の哀愁に禁へられぬものがある。今、我府の自殺累年統計を調ぶるこ。

大正元年	三二二	大正六年	三九五
同 二年	三八六	同 七年	四七八
同 三年	四五五	同 八年	四六一
同 四年	三二四	同 九年	四二七
同 五年	四二五	同 十年	五二八

こいふ數になるが、全國の自殺者數は大正九年に於て於て一萬六百三十人を算する。あゝ生の破綻！何とした痛々しさであらう。

けれども私は會て製鐵所長官某氏の自殺が、縊死であつたこを冷笑して、薩南の士もあらうものが、切腹自及もしきれず、縊死は九州男子の面目を潰すものであるこ思つた。だか、又その笑は聽て自己自らの嗤笑であるこに氣附いたとき、冷汗一斗の思に面伏せを感じた。嘗に私のみでなく人々が自己の立ち場に窮して、自裁するこが出来、死を以て天下に謝するこが出来るだけの責任觀念があるであらうか？人々が自己の罪惡を悔ひ、人格の保持に執心であり、責任の何たるかを解して自裁の方法を講ずるなら、地上の美は茲に人生に現はれ、百花甜にして白晝眩すこ云ひ得るであらう。

實に自殺は美であるこ共に善であり、且つ眞であらねばならぬ。ものみな伴りの世にも自殺は死だけは切實なる義である。けれども人々は自己の罪惡を隠蔽して、ここまでも逃れるだけ遁れやうとする。而も遁れ途に又罪惡を累ぬる。何とした吾れ人共に卑怯な態度であらう。人々が眞に自裁の哲理を、責任の自覺に理解するなら、社會は暗い陰影を以て裏まれた赤い扉も、法廷の威儀も不要である。實に自殺は人世を整理し、社會組織を簡にするものである。

自殺は動物群類の中から靈長類 Primates を證明する一箇の手段である。

數字餘論

ミ云つて、私は自殺を奨励するまでの愚策の立案者ではない。人々は自殺すべき事情の以前に於て、自殺の原因に觸れないやう、常住座臥だも虚偽の生活を拒斥し、眞實の生活に憧憬を持ち、生の捷利を謳歌すべきことを私は思ふ。

○プロセクシヨン・オブ・チムネ

湯屋千〇七十三本の各種煙突を除いて府下の煙突は

煉瓦	三四五	コンクリート	五八
鐵管	一一、一六一	土	五六
計	一一、六二〇	管	

總計三千六百九十三本になる。これらの燃料はコークスの二億五千萬斤以上、油の六千石以上の外に四十一億五千八百四十二萬三千二百四十五斤の石炭を要してゐる。今、噸數に換算すれば二百四十七萬五千二百五十二噸であつて、川口に入港する石炭輪送帆船を平均二十五萬石（百五十噸）積み假定して一萬六千五百〇一艘に當る。今該噸數船を以て府下需要石炭を輸入するにせば、毎日四十五艘宛の入港を以てして供給されることである。

據々としてたち騰る煤煙の其力は十億萬圓の工産價額を年に生みつゝ、工業都市としての權威を擁護しつゝあると思へば、何ぞ必ずして降灰の多きを憂へんである。

○統計より見たる大阪府の地位

（各府縣に比して）

面積 内地の總面積は二萬四千九百九十五平方里七であつて、一道三府四十三縣に相當する平均五百三十一方里八になる。我府の總面積百十五平方里四を之に比するに平均面積を下るに大なるのみならず、第四十七位といふ最末位に在る。

人口 は總人口五千五百六十七萬五千人、平均は百十九萬人に當り、我府の人口は二百五十七萬九千人、平均數を超過して全國第二位

人口密度 は全國平均二千二百人で、我府の密度は二萬二千三百人、平均數の約十倍に達して第二位

世帶數 は全國千二百二十二萬二千〇五十三世帶、府縣平均二十三萬八千七百六十七世帶、

我府の世帶數は五十六萬七千〇八十九で、人口及密度と同じく東京を第一位として第二位にある。

數字餘論

數字餘論

生産物價額に於ては

——(大正九年ノ統計ニ由ル、單位千圓)——

生産物	全國總生産額		平均(道府縣)		大阪府生産額		順位
	金額	順位	金額	順位	金額	順位	
農産物	四,五三七,八五〇	一	九五,五五〇	一	八八,三五〇	一	二十五位
蠶絲	一,七二三,三六六	二	三六,四五一	二	一七九	二	四十六位
林産物	六〇四,八九八	三	二一,八〇〇	三	二,九〇〇	三	四十五位
畜産物	一九六,五九三	四	四,一八二	四	八,〇〇〇	四	六位
礦産物	六九三,八九二	五	一四,七六三	五	六,四四七	五	三十三位
水産物	四六六,七五二	六	九,六三〇	六	六,四四七	六	三十位
工業物	八,三九九,三五〇	七	一七八,四九六	七	一,三三二,一七九	七	一位
計	一六,六〇二,五六一	八	二四八,〇九〇	八	一,四四七,七〇〇	八	一位

現住戸數「一戸當り」の生産價額は

(單位圓)

生産物	道府縣平均	大阪府	順位
農産物	八二六	九六六	十四位
蠶絲	一六一	一	四十六位

數字餘論

但農産物水産物價額は農家漁家、一戸當り、其他は全戸數一戸當りにての採算生産物價額百分比と其順位

生産物	平均		大阪府		順位
	金額	順位	金額	順位	
農産物	二七三	一	六三二	一	四十六位
蠶絲	一〇三	二	—	—	四十七位
林産物	三〇六	三	〇〇〇	四	四十七位
畜産物	一〇二	四	〇〇〇	五	四十四位
礦産物	四〇三	五	〇〇〇	六	四十四位
水産物	二〇九	六	〇〇〇	七	四十一位
工業物	五〇五	七	九二九	八	四十位
計	一〇〇〇	八	一〇〇〇	九	一位

數字餘論

農業戶數と耕地面積に於ては

(大正八年調査)

農業戶數	大阪府	九一、二四八戸	全國平均	二九、五六六戸	全國總數	五、四八一、一七戸
耕地面積	田	五四、〇八五・六反		六五、六九三・〇	三、〇三一、八七九・八町	
	畑	二、六三八・三反		六、三〇四・五	三、〇五〇、〇〇八・七町	
計		六、七三三・八反		一三、一九七・一	六、〇七一、八八八・五町	

現在戸數百に付農業戶數及一戸當り耕地反別

(單位反)

現住戸數百ニ付農業戶數	大阪府	一六・〇九	全國平均	四・六	順位	四十五位
農家一戸當り耕地反別	田	五・九		五・五		二十位
	畑	一・〇四		五・六		四十四位
計		七・〇三		一一・一		四十一位

米作付反別及收穫高に於ては

(大正九年)

作付反別	大阪府	五三、〇八・町九	全國平均	六五、〇九二町一	全國計	三、二六、二五町八
收穫高		一、三六九・八五石		一、三三三、〇三六石		六三、一八二、七五石

收穫高 (一反歩當り) 二石五斗八升 (三 位) 二石〇二升一合 (四十五位)

麥作付反別及收穫高に於ては (大正九年)

作付反別	大阪府	二七、六七九・町三	全國平均	三七、三〇二町	全國計	一、七五三、一四五町五
收穫高		四六、六三二石		四六、五二石		三、四七七、八〇八石
收穫高 (一反歩)		一石四斗六升九合 (九 位)		一石二斗七升八合		
現住人口一人當り		一斗四升一合 (三十八位)		三斗八升七合		

工場及職工に於ては

(大正八年、職工五人以上使用スル工場及職工數)

工場數	大阪府	五、三三	全國平均	九三五	全國計	四三、九四九
職工數		一〇八、三〇三		三、三五〇		一、五二〇、四六八

牛、馬、豚數に於ては

(大正八年末)

牛	大阪府	三、〇七	全國平均	二九、三三八	全國計	一、三四、一七八
馬		二、〇五		三〇、三三八		一、四三、八九九

數字餘

数字餘論

豚

二、四六五

(二十七位)

10,001

10,001

府縣歳入豫算に於ては

(大正十年)

- 第一位 東京
- 第二位 兵庫
- 第三位 大阪

- 三、七〇三、八二〇
- 一六、七二七、八八五
- 一六、〇〇〇、七八四

府縣歳出豫算に於ては

(大正十年) (單位圓)

- 順位 警察費
- 一 一三、三三三、四九六 (東京)
- 二 五、九四七、七二三 (大阪)
- 三 三、〇九六、〇四四 (兵庫)
- 順位 教育費
- 一 三、七三三、〇〇四 (東京)
- 二 二、九〇三、〇二五 (福岡)
- 三 二、六九三、九八四 (大阪)

- 土木費
- 七、四三三、四四〇 (兵庫)
- 六、四八〇、八七三 (東京)
- 三、七二八、八九二 (大阪)
- 教育費
- 五、三三三、五五〇 (東京)
- 二、三〇三、三三五 (大阪)
- 二〇八、五九六 (京都)

- 衛生費
- 九一八、八五〇 (東京)
- 七四四、七六八 (大阪)
- 三九九、七六三 (兵庫)
- 其他
- 六、四一四、二七六 (東京)
- 三、〇三〇、三三四 (兵庫)
- 二、三九七、二一八 (大阪)

勸業費は長野、新潟、兵庫の順序にして、我府は三六六、二七四圓を以て第四十二位に當る。

数字餘論

然して總計に於ては。

- 一位 東京 三、六九七、一〇九
- 二位 兵庫 一六、七二七、八八五
- 三位 大阪 一六、〇〇〇、七八四
- 四位 愛知 二〇、三七三、〇八八
- 五位 新潟 九、八七〇、三三四
- 六位 福岡 八、九四一、五三〇
- 七位 神奈川 八、六四一、三三〇
- 八位 長野 七、七〇二、六五一
- 九位 静岡 七、五三四、四〇五
- 十位 北海道 七、四七六、八三三

◇数字餘論を書きつゞけたら、ここまでも際限がないからあこは讀者の研究に絶つて爰に擱筆することにした。

大阪人國記

津の國の浪華の春は夢なれや

葦の枯葉に風わたるなり

—西行法師—

難波八十島、水は繞り海に連るころ蘆澤深く、秋は蕭條冬は浙瀝、天地の風物萬籟の裏に潛みしものを、大大阪の建設が今日あらうとは誰れが豫期し得たであらう。

水の郷、橋の巷、煙の都、船の港、人の渦巻く我大阪の盛觀は、東洋のマンチエスタアにして工業都市の故を以て之に比するが、其實人口は英のマンチエスタアに倍するこゝ二倍、世界第十四位の市府である。

楮、其むかしの大阪を説けば、郊外西成郡大道村西大道に應神天皇の大隅宮を創め給ひしより帝都の端を開き、後に仁德天皇の高津宮ありし以來、孝德天皇の朝に至つて西成郡豐崎町本庄に

難波長柄豐崎宮を經營し給ふに會ひ、又、聖武天皇に依つて僅か十餘年の間も難波に都し給ひしこゝがあつたが、太閤の大阪城府建設までは依然大阪は移動した邑にすぎなかつた。都市建設の原理から云へば、西大道といひ、高津といひ、本庄といひ、難波も云ふも、要するに中心を得るまでの物的運動の一端であつて、太閤に依つて其運動は底止し今の大阪といふ重心點に版したのである。

尤も市制の濫觴もいふべきは孝德天皇の豐崎宮に肇り、大化元年十二月に宮城を難波小郡に造營の議就りて翌二年に京師を修めて四坊を興し、坊毎に長を置き令を任じ、戸口を檢按して、奸非を察し、所謂、大化の新政を肇下に爲めて綱紀の振張に努められたにある。

市政も又久しきかな!

汝、大阪! 汝の父は江河淀である。汝の母は大阪灣である。汝の産褥は攝、河、泉の平野である。汝の助産婦は太閤殿下であつた。かくて成人せる大阪は三百年の齡にも、戸數三十萬三百二十四戸、人口百三十四萬六千四百七十一人、之に近接せる町村の第二大阪を合したら人口百

大阪人圖記

六七十萬の多きに上るであらう。

吾ら大阪に遊んで大阪の第一印象は云へば、それは流れである。橋である。實に大阪には川が多い。借如へし日本和蘭云ひ得るであらう。水郷和蘭は私等にありて歐州の山川を想到するまじき、毎にさまざまの流れの韻が頭腦に上るまじきのものである。

人々は水の流れを聞くがよい。颯爽とした松風の音もよからう。煮えたつ茶釜のこりこりな音色もよからう。けれども人々は水の流れをまじきに聞くがよい。樂美は只人工的な管絃にのみ存在するものでない。天地の無情物をして有情物化せしむるまじきに、大自然の超作曲が容づられてるではないか。

怒うした流れ！、けれどもそれはリターラチュアの専有ではあるまい。ライン河のほこり、ピネバ河畔の風光、私はそれらを較べて水の流を文化の流に直覺する一人である。

江河、淀——澱江——の流れや久し矣。府を流通する此河の本支流が有する舟筏里程は實に百六十八里十八町であつて、我國では大和根、信濃川に次ぐの舟筏里程、汝の名は當に大阪の父で

ある。

なにはの葦は、伊勢の濱萩、まじりかはれば品かはる九州、バツ、テン名古屋ナモ大阪サカイの京都ドス、其サカイ言葉は他郷の人が真似るまじ厭な贅疣に陥るが、大阪人には自然そのものゝ如く輕快にやつてのけるまじりに妙味が感得せらるゝ。同じサカイ言葉の分布する兵庫、京都から北陸富山に至る一帯のサカイ言葉には似て非なるまじりがあるサカイ、矢張りサカイ言葉は大阪が本場でおます。

むかしは浪華五人男といふ男の中の男をも、本に見たが、當世の大阪人は果して如何か？、著者日淺くして之を知るに難いが、東京の都々逸、大阪のよしこは同じ俚諺でありながら東京の語尾上りに對して、大阪のは語尾下りに唄はれる。此對比は靜から動へ、動から靜への感がある。靜中の動、動中の靜、前者は陽にして海の壯烈を喜び後者は陰にして山の沈靜を樂むによき調であつて、此二つの趣味は江戸ツ子と上方人のキャラクターを語るに十分であると思ふ。が、

大阪人圖記

中の島の太閤さんの銅像のチツボケなこゝは大阪人に聞いて見たい。

會つて聞く新聞社員の三都人士觀に曰く。

今如し、擴張紙を配達するとして何日目に申込勧誘に出かけるこゝ、大阪人は「什麼ものは知りまへん」を逃げ、京都人は「折角だすけさ」をいつて今迄の新聞紙を折目正しく重ねて返すそ
うだが、勿論眼光紙背に徹した後のこゝである。之に反して東京人は四日分でも五日分でも代價
を握つて應對するこゝろに上手に温か味があるといつてゐる。

吾人聞いて其眞實を知らずとも、誰やらはナレ程云つた。

◆ 木搗は越後から

三助や樂屋は越中から

飴屋は朝鮮から

近頃は遠いロシアから羅紗屋さんが來てゐるのだから、私等が東京に居る時代、貴公はこ生國を

問はれて、僕は九州だを答へ得たとき、たまへ椰輪が滑つてゐるにしてもア、ハン大臣の成損ねか
を云はれたとき妙な痛快味を味はせられた。大臣でない、大臣の成り損ねが面白いではないか。

◆ 海將は薩摩ツボの専有でない。佐賀縣の寺井、早津江地方からは一村から百名以上の海軍將
校を輩出してゐる。亦、筑後の柳河では或る十軒餘りの小路町からさへ(舊藩士の)十數名の學士
を出してゐる。靜岡縣出身の博士は百名以上もあらう。福岡縣では知事級の人物がドン／＼飛出
してゐる。夫處には環境と系統との威力が見せつけられるようである。何れにしてもパーセンテ
エジが並でない。然して我大阪は奈何なる人物のクラスを有するか。頼山陽は山紫水明多く英雄
を出すといつた。其頼山陽は大阪で産湯をつかつた一人であるが、是か非か皮肉か!

◆ 住友備中守の子孫、山中鹿之助幸盛の子孫、贅六を觀じた者流の末、槍先の功名を錙銖の利に、
紺暖簾と帳場格子の裡に相傳の六箱三略何で愚があるものか。今日の商工の大阪の殷賑は這間の
消息に原ぬべき要があらう。

限りある紙數の上で今は人物傳を書く餘白を有しないが、我大阪の人口は

寛文 五年	二六八、七六〇
元祿十六年	三五一、七〇八
寛延 二年	四〇四、一四六
明和 元年	四一九、八六三
天明 七年	三七一、七四〇 (米價暴騰ノ爲メ天明二年頃ヨリ減少セリ)
天保 九年	三三二、七〇一 (七八年ノ凶作ト兵火ノ爲メ又減少セリ)
同 十三年	三五〇、四三三
同 十四年	三三三、〇七二 (人別改メノ制の爲メ再減少セリ)
明治元年	二八一、三〇六 (維新ノ兵亂ノ爲メ減少セリ)

然して今日では百三十萬以上の人口、念へば星は天のもの、希ば地上の建設は只一人のカミ云
はず、社會共存の理に縋つて敵も味方の愛に包まれて俱に倍に!

Appendix

附 録

前町村 龜養
 西信達村
 北信達村
 東信達村
 新家村
 田尻村
 大土村
 南中通村
 上之郷村
 長瀬村
 日根野村
 佐野町
 北中通村
 熊取村
 南近義村
 北近義村
 貝塚町
 木島村
 島生郷村
 麻生郷村

南河内郡

鳴瀬村
 樽井村
 雄信達村
 尾崎村
 東鳥取村
 西鳥取村
 下莊村
 淡輪村
 深日村
 孝子村
 多奈川村
 富田林町
 新堂村
 喜志村
 大伴村
 石川村

磯長村
 山田村
 白木村
 河内村
 中内村
 赤阪村
 千早村
 東條村
 川西村
 錦郡村
 彼方村
 千代田村
 長野町
 天野村
 高向村
 三市封村
 加賀田村
 天見村
 川上村

金岡村
 南八下村
 北八下村
 古市町
 駒ヶ谷村
 西浦村
 國分村
 玉手村
 狹山村
 三都村
 大草村
 日置莊村
 野田村
 平尾村
 黒山村
 丹南村
 丹北村
 丹生村
 高鷺村

中河内郡

藤井寺村
 道明寺村
 志紀町
 長吉村
 瓜破村
 矢田村
 天美村
 布忍村
 松原村
 三宅村
 惠我村
 北高安村
 中高安村
 南高安村
 堅下村

市町村一覽表
 三島村
 安威村
 福井村
 濤井村
 宮島村
 豐川村
 春日村
 三宅村
 玉柳村
 味舌村
 岸部村
 山田村
 吹田村
 千田村
 新田村
 味生村
 島生村
 石河村
 凡山村

豊能郡

清溪村
 止々呂美村
 細河村
 池田町
 桑野村
 箕面村
 荳野村
 北豊島村
 麻田村
 中豊島村
 櫻井谷村
 熊野田村
 豊中村
 南豊島村
 庄内村
 小曾根村
 豊津村

泉

吉川村
 東能勢村
 東郷村
 歌垣村
 田尻村
 西郷村
 根根莊村
 北郡
 楠松村
 五箇莊村
 三寶村
 鳳凰村
 神石村
 野尾村
 濱寺町
 高石町
 取石村
 鶴田村

北上神村
 東百舌鳥村
 美木多村
 上神谷村
 西陶器村
 久世村
 深井村
 東陶器村
 八田莊村
 百舌鳥村
 信太村
 上條村
 國府村
 大津町
 穴師村
 忠岡村
 南王子村
 南莊村
 伯太村

泉南郡

北池田村
 北松尾村
 南池田村
 横山村
 南松尾村
 山瀬村
 南横山村
 山直上村
 山直下村
 南掃守村
 八木村
 北掃守村
 土生郷村
 有真香村
 東葛城村
 西葛城村

市町一覽表	堅上	西六郷村	庭窪	氷室村
孔舎衛	北江村	大和田村	菅原村	
大戸	龍華村	四宮村	山田村	
南枚岡	久寶寺村	南郷村	牧野村	
池島	加美村	二島村	招提村	
三野郷	長瀬村	西真村	棹葉村	
英田	布施村	古宮村	(住道) 住道村	
東六郷	巽村	諸堤村	四條村	
(舊)八尾	大正村	三郷村	(豊分) 甲可村	
曙川		守口町	豊野村	
西郷		水本村	田原村	
若郡		星田村	淺屋川村	
彌刀		津田村		
小坂		川越村		
高井田		交野村		
(豊分) 意岐部		磐船村		
楠根				
玉川				

北河内郡

名	稱	所在地	名	稱	所在地
大阪府	府廳	西、江ノ子島上之町	大阪府立圖書館		北、中ノ島一
大阪府會議事堂		同所	大阪市立工業研究所		北、天神橋四
大阪府港務部		西、海岸築港埠頭沿岸地	大阪市立博物館		南、天王寺公園内
大阪府農會		西、江ノ子島上之町	大阪市立市民館		北、天神橋六
大阪府衛生會		東、高麗橋一	大阪市天王寺公會堂		南、天王寺公園内
大阪府測候所		西、一條通二	大阪市中央公會堂		北、中ノ島一
大阪府役所		北、中ノ島	大阪商業會議事堂		同
東區役所		東、本町一	大阪地方職業紹介事務局		北、堂島濱通二
西區役所		西、江ノ子島東ノ町	神宮神部支署		北、中之島四
南區役所		南、竹屋町	帝室林野管理局出張所		北、新川崎町一
北區役所		北、曾根崎上一	內務省土木出張所		西、土佐堀
大阪市港灣部		西、三條通四	內務省衛生試驗所		東、京橋三
大阪市電氣局		西、九條	大阪大林區署		東、內久寶寺町二
東成郡役所		南、天王寺六萬幡町	大阪鐵務署		東、上本町一
西成郡役所		北、上福島中一	中央度量衡檢定所支所		西、川口町
大阪府立商品陳列所		東、内本町橋詰	大阪遞信局		北、曾根崎

大阪市所在官廳公衙表

大阪市所在官廳公衙表

大阪市所在官廳公衛表

大阪貯金支局 東、京橋三
 大阪中央郵便局 北、中之島二
 大阪中央電話局 東、平野町二
 造幣局 北、新川崎町一
 大阪稅務關 西、二條通四
 大阪稅務監督局 北、中之島四
 東稅務署 東、內本町二
 西稅務署 西、江ノ子島東之町
 南稅務署 南、高津七番町
 北稅務署 北、中ノ島四
 大阪地方專賣局 南、難波河原町
 大阪控訴院 北、若松町
 大阪地方裁判所 同町
 大阪區裁判所 同町
 大阪少年審判所 同町
 大阪信託局 同町
 大阪利務所北區支所 同町
 大阪地方海員審判所 北、玉江町一
 大阪府立醫科大學病院 北、堂島濱三

大阪市立平民病院 東、北濱三
 同 桃山病院 南、天王寺筆ヶ崎町
 日本赤十字社病院 同町
 大阪府立難波病院 南、難波新川
 大阪細菌研究所 北、本庄横町三
 大阪市立衛生試驗所 西、阿波堀三

— 郡部所在官衛 —

大阪工業試驗所 西成郡鷺洲町大仁
 大阪府立農事試驗場 泉北郡軸松村原茶屋
 農商務省農事試驗場畿内支場 南河内郡柏原町
 大阪市立刀根山療養所 豐能郡麻田村
 大阪刑務所 堺市向井町北庄
 同 堺支所 同車町西二

軍隊所在地表

陸軍造兵廠大阪工廠 東、杉山町
 大阪陸軍兵器支廠 東、馬場町
 大阪陸軍糧秣支廠 西、天保山町
 大阪陸軍被服支廠 東、法圓阪町
 第四團司令部 東、大手前町
 大阪聯隊區司令部 同
 大阪衛戍病院 東、島町一
 大阪陸軍利務所 東、馬場舊城內
 步兵第七旅團司令部 東、大手前町
 步兵第八聯隊 東、法圓阪町
 步兵第卅七聯隊 同

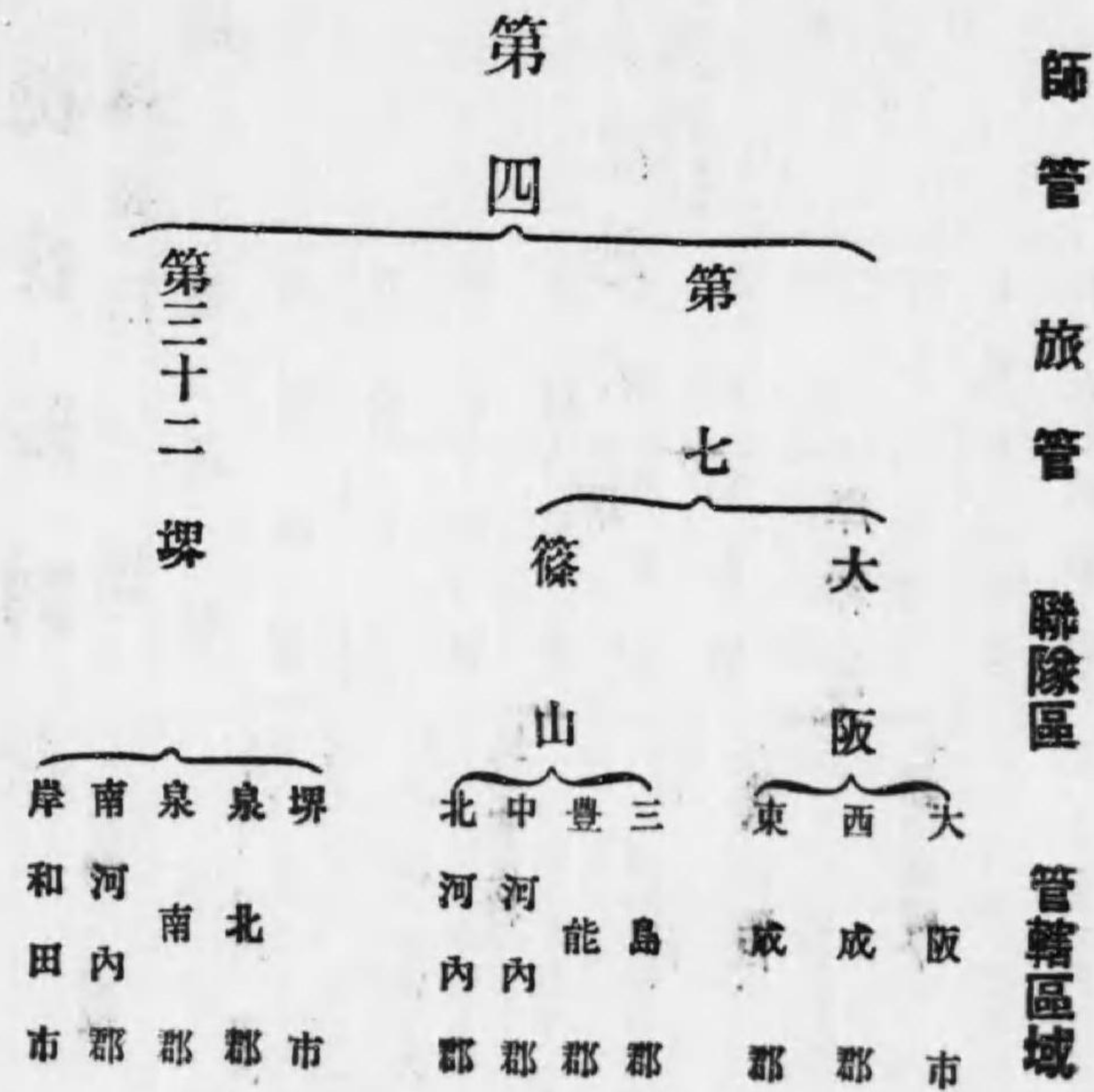
騎兵第四聯隊 東、小橋寺町(東、高津中寺)
 輜重兵第四大隊 東、法圓坂町
 大阪憲兵隊本部 東、大手前町
 海軍監督官事務所 北、堂島濱通三
 (以上大阪市)

堺聯隊區司令部 堺市向井町字高辻
 工兵第四大隊 三島郡高槻町
 野砲兵第四聯隊 泉北郡伯太村

軍隊所在地表

陸軍管區表

陸軍管區表



稅務區劃表

稅務區劃表

監督局

稅務署

所在地

管轄區域

大阪稅務監督局

東 稅 務 署	大阪市東區內本町二	大阪市東區
西 稅 務 署	同 西區江之子島東之町	同 西區
南 稅 務 署	同 南區千年町	同 南區
北 稅 務 署	同 北區中ノ島四	同 北區
玉 造 稅 務 署	東成郡鶴橋町大字東小橋	西成郡、東成郡
茨 木 稅 務 署	三島郡茨木町大字茨木	三島郡、豐能郡
堺 稅 務 署	堺市柳屋町東二丁	堺市 泉北郡
岸 和 田 稅 務 署	岸和田市岸城町	岸和田市、泉南郡
富 田 林 稅 務 署	南河內郡富田林町大字富田林	南河內郡
住 道 稅 務 署	北河內郡住道村大字三箇	中河內郡、北河內郡

公園名

公園

(大正十年末調査)

段

別

住吉寺	濱寺	箕面寺	天王寺	中島	清水谷	北野	西野	御藏跡	阿波座	九條	西九條	木津	大津	岸和田	計
-----	----	-----	-----	----	-----	----	----	-----	-----	----	-----	----	----	-----	---

東成郡住吉村	泉北郡濱寺町大字船尾同下高石町大字今在家	豐能郡箕面村大字平尾	大阪市南區天王寺茶臼山町外六ヶ町	同 北區中ノ島一丁目	同 東區清水谷西ノ町	同 北區北野東ノ町	同 北區西野田玉川町一丁目	同 南區御藏跡町	同 西區阿波座一番町	同 西區九條通三丁目	同 西區西九條上之町	同 南區木津北島二丁目	堺市大濱通四丁吾妻橋通四丁	岸和田市	
--------	----------------------	------------	------------------	------------	------------	-----------	---------------	----------	------------	------------	------------	-------------	---------------	------	--

二三八	四九〇	八五〇	一六六	六八	三	一	一	一	二	三	七	二	一八七	一〇	一九三
-----	-----	-----	-----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	----	-----

著作權所有



大正十三年三月十五日印刷
大正十三年三月十八日發行

定價金貳圓

最新大阪府地理 圖典附

著者 中村庸一

發行者 岸本榮七

印刷所 大阪市南區西賑町一番地
浪速印刷株式會社

發行所

大阪市西區朝北通二丁目十八番地
振替口座大阪七四三番

盛文館書店

電話土佐丸(一五二二三番)

終